

MOT/PBX シリーズ

ユーザー設定画面マニュアル

第2版：2019年12月23日

株式会社 バルテック

目次

1	はじめに.....	4
2	USR 設定画面起動方法.....	5
3	設定画面詳細.....	6
4	通話履歴を利用する.....	11
1.	通話履歴を確認する.....	11
2.	FAX 送受信履歴.....	13
5	留守番電話や転送を設定する.....	14
1.	アナウンスや留守番電話を電話機から手動設定する.....	14
2.	留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認する（留守録再生）.....	21
3.	指定した時間にアナウンスや留守番電話を自動設定する.....	23
4.	各種応答メッセージの内容を設定（変更）する.....	32
5.	スケジュール設定を初期化する.....	39
6.	スケジュール設定を保存・復元する.....	40
6	留守番メール送信設定を行う.....	41
1.	留守電をメールで通知する.....	41
2.	留守録（相手が録音したメッセージ）を一括削除する.....	43
7	電話機へ電話帳を反映する.....	44
8	SIP 電話機（ナカヨ・サクサ）の設定.....	51
1.	ナカヨ電話機の設定を変更する.....	51
2.	サクサ電話機の設定を変更する.....	54
9	着信拒否を行う.....	57
10	コールバック機能を使って発信する.....	61
11	音声会議を利用する.....	64
12	顧客情報表示機能（CTI）が参照する顧客データについて.....	66
1.	顧客情報を登録する.....	66
2.	登録されている顧客情報を確認・編集（修正／削除）・出力する.....	69

3.	顧客情報を一括で取り込む (CSV ファイル取込)	70
13	チャット機能 (MOT/Cha) を利用する	75
1.	チャットを利用するユーザを登録する	75
2.	チャット利用設定の解除、パスワードの変更をする	78
3.	番号の移行 (チャット携帯認証ユーザを PBX 認証へ移行する)	80
4.	利用制限の解除	82
14	FAX 機能利用設定ご利用時に必要な設定	83
1.	FAX 受信用の MOT/Cha グループにユーザを追加する	83
2.	FAX で利用する送付状を設定する	84
3.	設定した送付状を削除する	86
15	メッセージ、コード一覧	87
1.	留守番電話アナウンス一覧	87
2.	アナウンスサービスメッセージ一覧	87
3.	着信拒否アナウンス一覧	88
4.	エラーコード内容	88
16	転送時の特番 (コマンド) について	89

1 はじめに

本書では、MOT/PBX のUSR 設定画面について説明しています。

USR 設定画面はご利用中のお客様が設定変更・設定情報の確認ができる画面です。

USR 設定画面で設定が可能な項目は、以下の通りです。

《登録/変更》

- ・電話帳の登録 ※CSV ファイルでのインポート/エクスポート機能搭載
- ・顧客情報の登録 (CTI 連動用) ※CSV ファイルでのインポート/エクスポート機能搭載
- ・ワンタッチボタンの登録

《機能設定》

- ・タイマースケジュール機能設定
- ・留守録メール通知機能設定
- ・コールバック機能設定
- ・着信拒否機能設定
- ・チャット (MOT/Cha) 利用設定
- ・音声会議利用設定

《情報確認》

- ・通話履歴の確認
- ・FAX 送受信履歴の確認 (MOT/FAX)

2 USR 設定画面起動方法

USR 設定画面にアクセスし、各種設定（初期設定や発着信設定など）を行う方法を説明します。

※ブラウザは Internet Explorer 11 以上をご使用ください。

1. Internet Explorer にて URL 欄に半角でアクセス用 URL を入力し、設定画面のトップにアクセスします。



URL は【[http:// \(MOT/PBX の IP アドレス\) :18080/USR](http://(MOT/PBXのIPアドレス):18080/USR)】です。

↑

USR は大文字

例 : MOT/PBX の IP アドレスが 192.168.10.200 の場合は

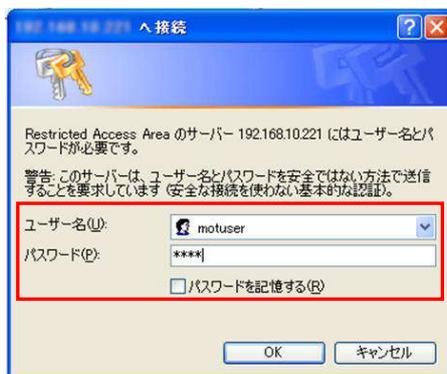
[http:// 192.168.10.200:18080/USR](http://192.168.10.200:18080/USR)

と入力します。

※IP アドレスはお客様の環境ごとに異なります。

※IP アドレスが不明な場合は管理者にお問い合わせください。

2. 認証画面が開きます。



以下の項目を入力後、「OK」ボタンを押下して、ログインしてください。

- ・ユーザー名 : motuser
- ・パスワード : user

3. 設定画面が開きます。

3 設定画面詳細

The screenshot shows the MOT/PRX settings interface. On the left is a 'メニューフレーム' (Menu Frame) containing a '管理メニュー' (Management Menu) with categories like '電話設定' (Phone Settings), '顧客情報' (Customer Information), '電話機編集' (Phone Editing), '電話帳管理' (Phone Book Management), and '旧電話帳編集' (Old Phone Book Editing). The main area is the '設定フレーム' (Settings Frame) for '通話履歴' (Call History). It includes a search form with fields for '対象内線' (Target Extension), '番号検索(先頭一致)' (Number Search), '対象日付' (Target Date), and '不応答/不在履歴' (No Answer/Absent History). Below the form are buttons for '表示' (Display), '出力' (Output), and '全て出力' (Output All). A table below shows columns for '発信者' (Sender), '通話日' (Call Date), '時間' (Time), '着信者' (Receiver), '外線着番号' (External Number), '呼出時間' (Call Duration), and '通話時間' (Talk Time). Three red boxes with arrows point to specific elements: 'メニューフレーム', '設定フレーム', and a 'テキストボックス' (Text Box) for the search field. Another red box points to the '対象日付' dropdown, labeled 'リストボックス' (List Box).

メニューフレーム

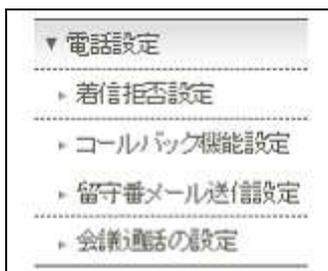
設定フレーム

テキストボックス
値を入力します。
不正な文字を入力するとエラーが出力されます。

リストボックス
リストから適切な値を選択します。

- ※1. 画面が表示されない場合はセキュリティソフトのセキュリティレベルを下げるなどを行ってください。
- ※2. 設定画面は JavaScript を利用していますのでブラウザの設定で JavaScript が利用できる事をご確認ください。
- ※3. WEB ブラウザは Internet Explorer 11 以上で動作します。
また、Netscape などの Internet Explorer 以外の WEB ブラウザを使用した場合、正常に設定できない場合がありますのでご注意ください。

◆メインフレーム 電話設定◆



設定画面名称	概要
着信拒否設定	着信拒否番号の設定をします。
コールバック機能設定	コールバック機能の設定をします。
留守番メール送信設定	留守番電話が入った際のお知らせメール送信先の設定をします。
会議通話の設定	音声会議の設定をします。

◆メインフレーム 顧客情報◆



設定画面名称	概要
情報一覧	登録済み顧客情報の一覧表示します。
新規登録	顧客情報の新規登録画面を表示します。
CSV インポート	CSV ファイルによる顧客情報のインポート処理を行います。

◆メインフレーム 電話機編集◆



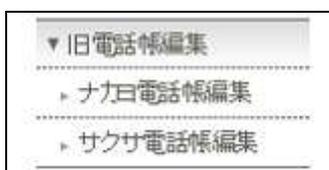
設定画面名称	概要
ナカヨ電話機設定	ナカヨ電話機の設定を編集します。
サクサ電話機設定	サクサ電話機の設定を編集します。

◆メインフレーム 電話帳管理◆



設定画面名称	概要
電話帳の反映	MOT/Phone(Windows 版、iPhone 版)、MOT/Contact、ナカヨ電話機、サクサ電話機に電話帳を反映します。
電話帳編集	電話帳を編集します。
電話帳インポート	CSV ファイルによる電話帳のインポートをします。
電話機管理	MOT/Phone(Windows 版、iPhone 版、Android 版)、ナカヨ電話機、サクサ電話機への電話帳反映の状況を確認します。 (反映先は内線番号で表示されます。)
電話帳の移動	既存のナカヨ・サクサ電話帳を電話帳画面に移動します。

◆メインフレーム 旧電話帳編集◆

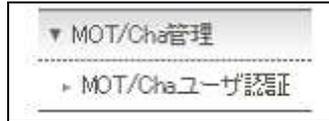


設定画面名称	概要
ナカヨ電話帳編集	ナカヨ電話機に対応した電話帳編集を行います。
サクサ電話帳編集	サクサ電話機に対応した電話帳編集を行います。

※旧電話帳をご利用されているお客様向けの電話帳管理機能です。

※ナカヨ電話機・サクサ電話機ともに共通でご利用可能な電話帳管理機能をご利用ください。

◆メインフレーム MOT/Cha 管理◆



設定画面名称	概要
MOT/Cha ユーザ認証	MOT/Cha ユーザの追加・削除を行います。

※MOT/Cha とは MOT/PBX が提供するチャット機能の名称です。

※MOT/Cha のご利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。

◆メインフレーム FAX 機能◆



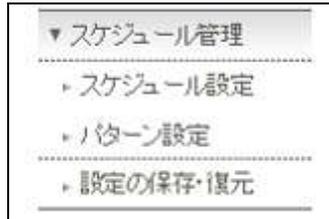
設定画面名称	概要
MOT/Cha 連動設定	MOT/Cha で FAX 通知を受ける場合に設定します。
FAX 送付状の設定	本装置に FAX の送付状ファイルを設定します。

※MOT/Cha を利用した FAX 送受信機能の設定です。

※ご利用には MOT/Cha の機能を有効にする必要があります、

MOT/Cha のご利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。

◆メインフレーム スケジュール管理◆



設定画面名称	概要
スケジュール設定	アナウンス・留守電の自動設定を行います。
パターン設定	スケジュールパターンを設定します。
設定の保存・復元	スケジュール設定の保存・復元・初期化をします。

◆メインフレーム 保守機能◆



設定画面名称	概要
CSV テンプレート管理	電話帳の CSV インポートで使用する電話帳用テンプレートをダウンロードします。
パスワード設定	USR 設定画面にアクセスするためのユーザ ID のパスワードを作成、管理します。

※ダウンロードした CSV テンプレートは電話帳管理の電話帳インポート機能でご利用いただけます。

◆メインフレーム 履歴・ログ◆



設定画面名称	概要
通話履歴	通話履歴の表示、および CSV ファイルでの出力が行えます。
FAX 送受信履歴	FAX 送受信の履歴を表示します。

4 通話履歴を利用する

MOT/PBX シリーズを利用した通話やFAX送受信の履歴を表示します。またログファイルを取得することもできます。

1. 通話履歴を確認する

1. 設定画面内「履歴・ログ」の「通話履歴」をクリックします。



2. 「通話履歴」画面が開きます。



- ①検索条件を入力します。
- ②「表示」ボタンを押すと下の欄に対象日付の通話履歴リストを表示します。
- ③「出力」ボタンを押すと対象日付の通話履歴リストをCSV形式のファイルに出力します。
- ④「すべて出力」ボタンを押すと最大40日分の通話情報をCSV形式のファイルに出力します。
※MOT/mini および MOT/PBX S-V1 は最大7日分となります。

項目	説明
対象内線	表示する内線番号を選択します。「指定無し」を選択すると全ての内線番号の履歴を表示します。
番号検索(先頭一致)	表示する電話番号を入力します。先頭一致で通話履歴を表示します。
対象日付	表示する日付を選択します。「全て」を選択すると全てのログ情報が表示されます。※最大日数分までが選択可能です。
不応答/不在履歴	チェックすると、不応答/不在を履歴に表示します。
通話時間	通話していた時間を表示します。

【「全て出力」について】

「全て出力」ボタンを押した場合は、ボタンを押した日付からさかのぼって最大日数分の通話履歴をCSVファイルに出力します。

例: 4月25日にボタンを押した場合は3月17日までの通話履歴をCSVファイルに出力します。

※最大日数が40日の場合。

※3月16日以前(最大日数より前)の通話履歴は確認できません。

【通話履歴リスト】

発信者 ①	通話日	時間 ②	着信者	外線着番号	呼出時間	通話時間
001 (オフィス24)	2015/02/09	20:32:50	301	001	00:00:02	00:00:03
001 (オフィス24)	2015/02/09	20:11:20	301	001	00:00:03	00:00:07

①通話履歴リストの発信者をクリックすると、「電話番号操作」の画面を表示します。



「発信する」ボタンを押すと、電話番号へ発信します。

※発信機能を利用する場合はWindows版MOT/Phoneのインストールが必要です。

「電話帳登録する」ボタンを押すと、共通電話帳に登録します。

②通話履歴リストの着信者をクリックすると、当該内線番号の発着信履歴を表示します。

顧客番号	6147					
対象内線	6147					
番号検索(先頭一致)						
対象日付	2月5日					
不在/不在履歴	<input type="checkbox"/> 表示する					
表示 出力						
履歴 2014年02月05日 13件						
通話日	時間	通話方向	発/着信者	外線着番号	呼出時間	通話時間
2014/02/05	20:47:05	発信	03-6132		00:00:03	00:00:31
2014/02/05	20:40:29	発信	03-6132		00:00:03	00:04:00
2014/02/05	20:31:16	着信	6120		00:00:02	00:00:52

2. FAX 送受信履歴

1. 設定画面内「履歴・ログ」の「FAX 送信履歴」をクリックします。



2. 「FAX 送受信履歴」画面が開きます。

The screenshot shows the 'FAX 送受信履歴' (FAX Send/Receive History) screen. At the top, there is a search filter section with a date dropdown set to '06月05日' (①) and radio buttons for '送受信方向' (Send/Receive Direction) set to '送受信' (Send/Receive). Below this are '表示' (Display) and '再取得' (Refresh) buttons (②). The main area shows a table of records for '履歴 14年06月05日 13件'. The table has columns for '時間' (Time), '送信/受信' (Send/Receive), '送信者' (Sender), '受信者' (Receiver), and '送受信状態' (Send/Receive Status). The first row shows a '送信' (Send) at 10:59:14 from 'MOT/Chaユーザー' to '株式会社A(032...)' with status '送信成功' (Send Success). The second row shows an '受信' (Receive) at 19:10:52 from '株式会社A(032...)' to '0311...'. The status for this row is 'MOT/Cha 通知成功 (再取得:) メール 通知成功 (再取得:)' (③).

時間	送信/受信	送信者	受信者	送受信状態
10:59:14	送信	MOT/Chaユーザー	株式会社A(032...)	送信成功
19:10:52	受信	株式会社A(032...)	0311...	MOT/Cha 通知成功 (再取得: <input type="checkbox"/>) メール 通知成功 (再取得: <input type="checkbox"/>)

①検索条件を入力します。

②「表示」ボタンを押すと下の欄にFAX 送受信履歴リストを表示します。

③蓄積しているデータを再取得する場合は、右下の（再取得：）にレ点を入れ、「再取得」ボタンを押します。

※送信者・受信者番号を、CTI 顧客情報や共通電話帳に登録している場合、その名称を表示します。

名称は、CTI 顧客情報の FAX 番号→CTI 顧客情報の電話番号→共通電話番号の優先順位で検索します。

※内部エラー等のエラーが発生した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

※FAX データはおよそ 200MB 分保持します、200MB を超えると古いファイルより削除され再取得できなくなります。（500KB のファイルを 1 日 10 個受信した場合におよそ 40 日分となります）

※再取得を同時に複数チェックして実行すると、正しく取得できない場合があるため、1 件ずつ順番に再取得を実行して下さい。

5 留守番電話や転送を設定する

MOT/PBX では着信に対し、留守電や転送など着信時の応答内容を設定することが可能です。
例)



1. アナウンスや留守番電話を電話機から手動設定する

電話機から、特定の番号をダイヤルすることで（注）アナウンスや留守番電話、転送設定を行うことができます。次の手順で設定します。 ※電話機からの操作になります。

【設定を行う場合】

1. 受話器を置いた状態で特定の番号（注）をダイヤルします。



2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスを確認し、受話器を置きます。

【マルチライン番号の留守電転送を行う場合】

マルチライン番号に対して留守電転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：ラインキー番号●●●●番～●●●▲番に対し、留守番応答を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （ナカヨ）	「*21」+「*91」+「留守応答番号」+「***●●●●」+「****●●●▲」
話中時に留守電応答する（ナカヨ）	「*22」+「*91」+「留守応答番号」+「***●●●●」+「****●●●▲」
不応答時に留守電応答する（ナカヨ）	「*23」+「*91」+「留守応答番号」+「***●●●●」+「****●●●▲」

※通常は「留守応答番号」を 301 に読み替えてください。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （サクサ）	「*21」+「*91」+「留守応答番号」+「**●●●●」+「***●●●▲」
話中時に留守電応答する（サクサ）	「*22」+「*91」+「留守応答番号」+「**●●●●」+「***●●●▲」
不応答時に留守電応答する（サクサ）	「*23」+「*91」+「留守応答番号」+「**●●●●」+「***●●●▲」

※通常は「留守応答番号」を 301 に読み替えてください。

【マルチライン番号の転送設定を行う場合】

マルチライン番号に対して特定の番号に転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：ラインキー番号●●●●番～●●●▲番に対し、転送番号■■■を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する （不在時）（ナカヨ）	「*21」+「■■■」+「***●●●●」+「****●●●▲」
話中時に転送先番号に転送する （ナカヨ）	「*22」+「■■■」+「***●●●●」+「****●●●▲」
不応答時に転送先番号に転送する （ナカヨ）	「*23」+「■■■」+「***●●●●」+「****●●●▲」
動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する （不在時）（サクサ）	「*21」+「■■■」+「**●●●●」+「***●●●▲」
話中時に転送先番号に転送する （サクサ）	「*22」+「■■■」+「**●●●●」+「***●●●▲」
不応答時に転送先番号に転送する （サクサ）	「*23」+「■■■」+「**●●●●」+「***●●●▲」

【グループ番号の留守電転送を行う場合】

グループ番号に対して留守電転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：グループ番号▲▲▲▲番に対し、留守番応答を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （ナカヨ）	「*21」+「*91」+「■■■■」+「***▲▲▲▲」
話中時に留守応答する（ナカヨ）	「*22」+「*91」+「■■■■」+「***▲▲▲▲」
不応答時に留守応答する（ナカヨ）	「*23」+「*91」+「■■■■」+「***▲▲▲▲」
圏外時に留守応答する（ナカヨ）	「*24」+「*91」+「■■■■」+「***▲▲▲▲」

※通常は「留守応答番号」を 301 に読み替えてください。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （サクサ）	「*21」+「*91」+「■■■■」+「**▲▲▲▲」
話中時に留守応答する（サクサ）	「*22」+「*91」+「■■■■」+「**▲▲▲▲」
不応答時に留守応答する（サクサ）	「*23」+「*91」+「■■■■」+「**▲▲▲▲」
圏外時に留守応答する（サクサ）	「*24」+「*91」+「■■■■」+「**▲▲▲▲」

※通常は「留守応答番号」を 301 に読み替えてください。

【グループ番号の転送設定を行う場合】

グループ番号に対して特定の番号に転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

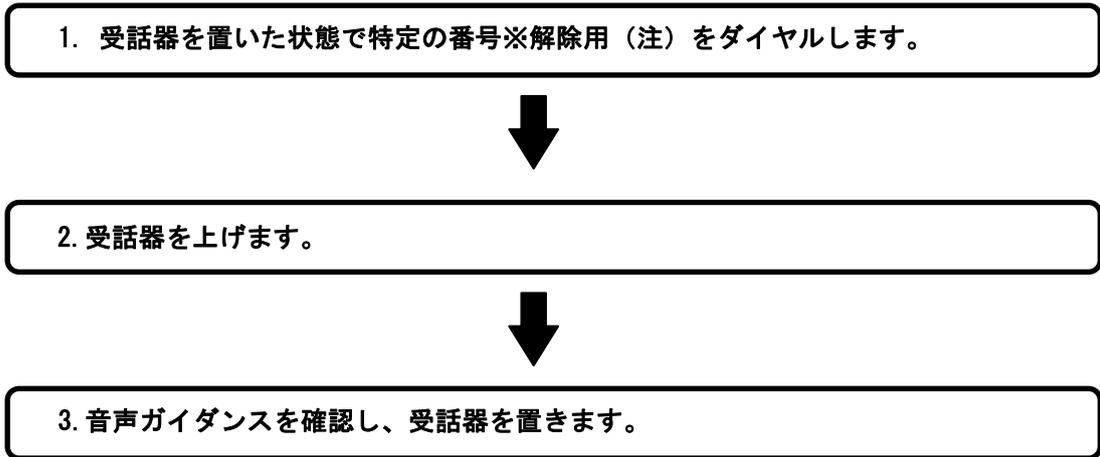
例：グループ番号▲▲▲▲番に対し、転送番号■●●●を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する (不在時) (ナカヨ)	「*21」 + 「■●●●」 + 「***▲▲▲▲」
話中時に転送先番号に転送する (ナカヨ)	「*22」 + 「■●●●」 + 「***▲▲▲▲」
不応答時に転送先番号に転送する (ナカヨ)	「*23」 + 「■●●●」 + 「***▲▲▲▲」
圏外時に留守応答する (ナカヨ)	「*24」 + 「■●●●」 + 「***▲▲▲▲」
動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する (不在時) (サクサ)	「*21」 + 「■●●●」 + 「**▲▲▲▲」
話中時に転送先番号に転送する (サクサ)	「*22」 + 「■●●●」 + 「**▲▲▲▲」
不応答時に転送先番号に転送する (サクサ)	「*23」 + 「■●●●」 + 「**▲▲▲▲」
圏外時に留守応答する (サクサ)	「*24」 + 「■●●●」 + 「**▲▲▲▲」

【設定を解除する場合】



【設定を解除する場合】

1. 受話器を置いた状態で特定の番号※解除用（注）をダイヤルします。

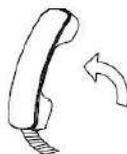
例：P15 の例にて設定した留守電を解除したい（※ナカヨの場合）

⇒ラインキー番号 9501、9502、9503 の留守電を解除する場合

「*21」 + 「***9501」 + 「****9503」の順にダイヤルします。

 ↑ ↑
 *が3個 *が4個

2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスを確認し、受話器を置きます。

（注）次ページの対応表を確認し、対応する番号を手順1にてダイヤルして転送設定を行ってください。

【マルチライン番号の留守電または転送設定の解除を行う場合】

マルチライン番号に対して留守電または転送設定の解除を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：ラインキー番号●●●●番～●●●▲番に対し、それぞれの設定を解除する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（ナカヨ）	「*21」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
話中時応答を解除する（ナカヨ）	「*22」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
不応答時応答を解除する（ナカヨ）	「*23」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（サクサ）	「*21」+「**●●●●」+「***●●●▲」
話中時応答を解除する（サクサ）	「*22」+「**●●●●」+「***●●●▲」
不応答時応答を解除する（サクサ）	「*23」+「**●●●●」+「***●●●▲」

【グループ番号の留守電または転送設定の解除を行う場合】

グループ番号に対して留守電または転送設定の解除を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：グループ番号▲▲▲▲番に対し、それぞれの設定を解除する場合

※電話機により、*の数が違います。

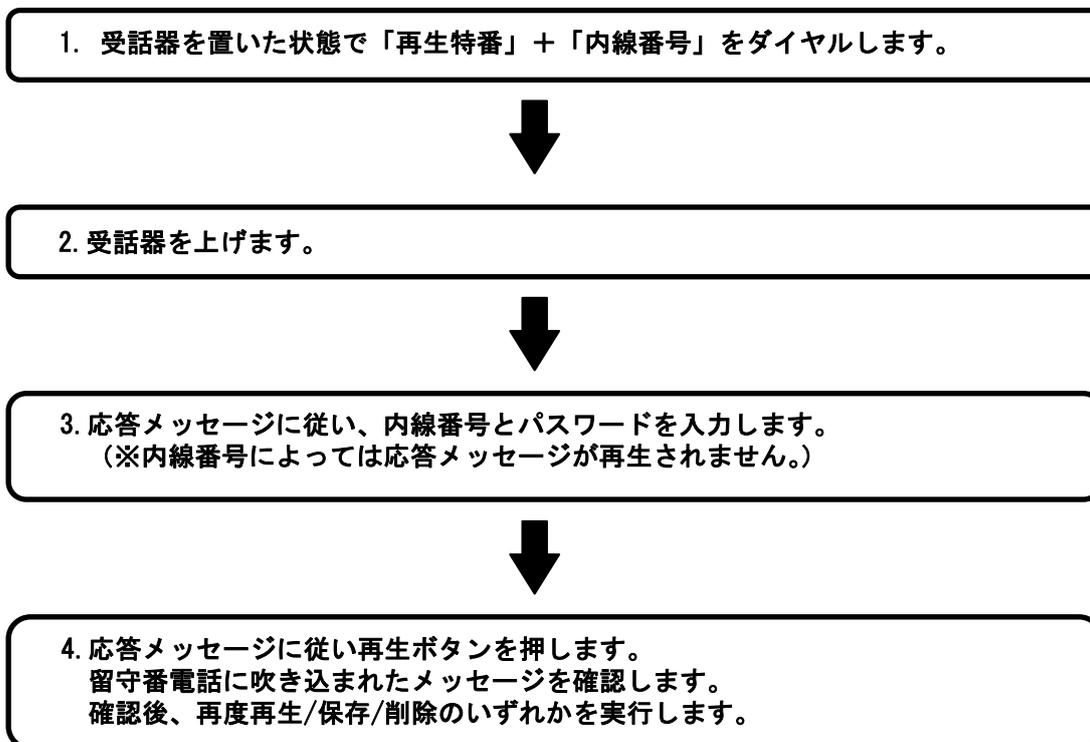
お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（ナカヨ）	「*21」+「***▲▲▲▲」
話中時応答を解除する（ナカヨ）	「*22」+「***▲▲▲▲」
不応答時応答を解除する（ナカヨ）	「*23」+「***▲▲▲▲」
圏外時時応答を解除する（ナカヨ）	「*24」+「***▲▲▲▲」
動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（サクサ）	「*21」+「**▲▲▲▲」
話中時応答を解除する（サクサ）	「*22」+「**▲▲▲▲」
不応答時応答を解除する（サクサ）	「*23」+「**▲▲▲▲」
圏外時時応答を解除する（サクサ）	「*24」+「**▲▲▲▲」

2. 留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認する（留守録再生）

電話機から、「再生特番」＋「内線番号」をダイヤルすることで留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認します。次の手順で確認します。 ※電話機からの操作になります。

【留守番電話に吹き込まれたメッセージ（留守録）を確認する場合】



【留守番電話に吹き込まれたメッセージ（留守録）を確認する場合】

※本例では内線 301 を留守電メッセージ保存先に設定しており、内線 302 からの操作を説明しています。

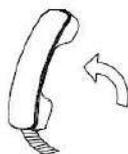
1. 受話器を置いた状態で「再生特番」＋「内線番号」をダイヤルします。

例：再生特番に「92」、内線「301」を留守電メッセージ保存先に利用している場合

（※通常は上記の初期値にてご利用いただいています）

「92」＋「301」の順にダイヤルします。

2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスが流れた場合は音声ガイダンスに従って「内線番号」とパスワードを入力します。

（録音に利用している内線番号（通常は内線 301）からの操作の場合は手順 4 にお進みください。）

例：本例では内線 302 からの操作のため

内線番号：301、パスワード：301 を入力します。

（※通常は上記の初期値にてご利用いただいています。）

入力エラー時は、再度内線番号とパスワードの入力が求められます。

再入力回数は設定できます（初期値は 3 回です）。

4. 認証された後、音声で新しい録音の件数と操作メニューが流れます。

留守電メッセージを確認後、再度再生/保存/削除のいずれかを実行します。

- ・録音された日付の古い順から再生されます。
- ・1 件再生する毎に、サブメニューで、再度再生/保存/削除を促すメッセージが流れます。
- ・すべての新しいメッセージを再生した後で保存されたメッセージを引き続き再生します。同じく古い順から再生します。

※再生中に電話を切る場合、その録音メッセージは未再生として保存されます。

再生していない録音メッセージはそのままになります。

メニュー名	動作選択項目
メインメニュー	再生/パスワード修正/終了
再生のサブメニュー	再度再生/保存/削除/スキップ

3. 指定した時間にアナウンスや留守番電話を自動設定する

スケジュール管理を設定することで、指定した日時にアナウンスや留守番電話、転送設定を行うことができます。

スケジュール管理は MOT/PBX のユーザー設定画面より、次の手順で設定します。

※ユーザー設定画面の操作になります。

1. パターン設定

一日に行うアナウンス・留守電の設定パターンを作成します。
※平日用、休業日用、長期休暇用など複数のパターンを利用する場合は、各パターンをそれぞれ作成します。



2. 基本設定

各曜日、および祝日に適用する基本の設定パターンを割り当てます。
※自動的に継続する基本パターンの設定です（基本設定の継続設定が必要です）。
パターンは、後からカレンダーより1日毎に個別で設定を変える事が可能です。



3. スケジュール設定

カレンダーへ基本設定を反映すると一括で設定が反映します。
その後、指定した日にちに対し、設定を個別調整します。

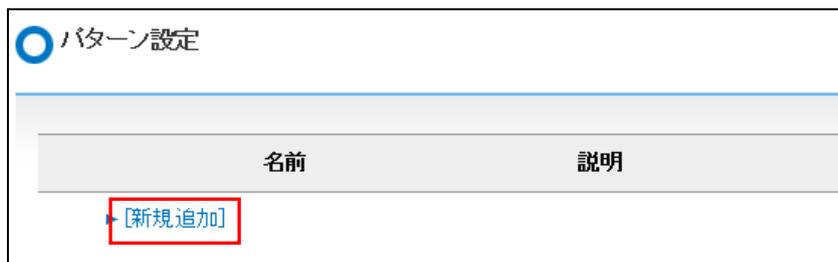
例：第3月曜日は休み、3連休後の土曜日は営業、など
基本設定と異なる設定が必要な場合は個別で設定を調整します。

1. パターン設定

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「パターン設定」をクリックします。



2. 「パターン設定」画面が開きます。「新規追加」を押します。



3. 追加するパターンの「名前」「説明」「表示色」を入力して、【追加】ボタンを押します。（名前の入力必須です。）



4. パターンが追加されます。次に、登録パターン内の「新規追加」を押します。



5. 画面が下に展開するので、「開始時間」、および「終了時間」に対し、それぞれどのような動作を行うか、設定します。まず、開始時間を登録します。

設定画面名称	概要
時刻	スケジュール動作を行う時刻を設定します。
転送先	留守録サービス・アナウンスサービス・外出先の携帯など、着信をどこへ転送するかを設定、もしくは解除を選択します。
転送種類	不在は着信が入ったら即時に[転送先]へ転送します。 不応答は予め決められた秒数(初期 30 秒)が経過して、応答しなかった場合に転送します。 ※秒数変更は工事担当者の設定が必要です。
転送元	どの外線番号に着信が入った際に動作を行うかを指定します。

手動設定
留守電開始
アナウンス
設定解除(全種)
設定解除

- [転送先]
- 手動設定 : コマンド欄に手動で入力します。
 - 留守電開始 : 留守番電話メッセージが流れ、相手がメッセージを残す事ができます。(初期値：*91301)
 - アナウンス : 留守番電話メッセージが流れた後、通話を切断します。(初期値：701)
 - 設定解除(全種) : 現在動作中の転送動作を不在・不応答両方解除します。
 - 設定解除 : 現在動作中の転送動作を[転送種類]で選択したモードの解除を行います。

※コマンドについて詳しくは「16 転送時の特番(コマンド)について」もあわせてご確認ください。

不在
不応答

- [転送種類]
- 不在 : 即時転送、または留守応答(1コールもしません)。
 - 不応答 : 数コール後に転送、または留守応答に切り替わります。(3秒～ ※1コール約3秒)

設定例：17：30 から、ラインキー（9501-9503）宛ての着信を留守電に設定する場合

名前 通常 説明 通常営業 表示色 Green

時刻	転送設定	説明
▶ [新規追加]		
時刻 17 : 30	転送先 留守電開始 *91301	
転送種類 不在	転送元 9501 - 9503	
説明 17:30留守電開始/8:30ま		
追加		キャンセル

6. 「追加」ボタンを押下します（編集の場合は「更新」ボタンを押します）。
7. 「追加しました。」と表示します。開始時間が設定されました。
続いて、終了時間を登録します。登録パターン内の「新規追加」を押します。

パターン設定 追加しました。

名前	説明	
通常	通常営業	[編集][削除]
▶ [新規追加]		
名前 通常	説明 通常営業	表示色 Green
時刻	転送設定	説明
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30留守電開始/8:30まで [編集][削除]
▶ [新規追加]		

8. 画面が下に展開するので、終了時間を登録します。

設定例：08：30から設定を解除（留守電を終了）する場合

名前	通常	説明	通常営業	表示色	Green
時刻	転送設定	説明			
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30留守電開始/8:30まで [編集][削除]			

▶ [新規追加]

時刻 08 : 30 転送先 設定解除(全種) [編集][削除]

転送種類 不在 転送元 9501 - 9503

説明 8:30留守電終了/17:30か

[追加] [キャンセル]

9. 「追加」ボタンを押下します（編集の場合は「更新」ボタンを押します）。

開始時間、および終了時間に対し、それぞれどのような動作を行うか、設定されました。

○ パターン設定 追加しました。

名前	説明			
通常	通常営業 [編集][削除]			

▶ [新規追加]

名前	通常	説明	通常営業	表示色	Green
時刻	転送設定	説明			
08:30	[全種][解除][9501-9503]	[編集][削除]			
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30留守電開始/8:30まで [編集][削除]			

※平日用、休業日用、長期休暇用など、複数のパターンを登録する場合は手順1~9を繰り返し、パターンを追加登録します。

以上でパターンの設定が完了しました。引き続き、基本設定を行います。

2. 基本設定

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「スケジュール設定」をクリックします。



2. 「スケジュール設定」画面を開きます。画面下部の「基本設定」を押します。

初期化		◀ 2015年05月 ▶					基本設定	
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2		
					未設定	未設定		
3	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9		
未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定		
10	11	12	13	14	15	16		
未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定		
17	18	19	20	21	22	23		
未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定		
24	25	26	27	28	29	30		
未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定		
31								
未設定								

未設定 設定無し
通常 通常営業 (08:30 アナウンス解除 / 17:30 アナウンス開始)
定休日A アナウンスA (00:00 休日用アナウンス)
定休日B アナウンスB (00:00 XXX用アナウンス)

スケジュール機能	実行中
基本設定の継続	実行中

基本設定 [パターン設定]

3. 基本設定画面を表示します。

各曜日、および祝日に適用する、基本の設定パターンを割り当てます。

曜日	パターン名	説明
月	通常	通常営業
火	通常	通常営業
水	通常	通常営業
木	通常	通常営業
金	通常	通常営業
土	通常	通常営業
日	未設定 通常 定休日A 定休日B	アナウンスA
祝		設定無し

保存 ②

[スケジュール設定] ③

①各曜日、および祝日に対し、パターンを割り当てます。

※上記例の場合は、あらかじめパターン設定にて、「通常」・「定休日 A」・「定休日 B」という 3 つのパターンを作成し、そのうえで基本設定を行っています。
複数のパターンを利用する場合は、先にパターン設定にて各パターンをそれぞれ作成してください。



【毎週日曜日は必ず休みで、土曜日の晩に留守電を設定、日曜日はそのまま留守電、月曜日の朝に留守電を解除する】場合は「日曜日は未設定（そのまま変更しない）」に設定します。

② 「保存」 ボタンを押します。

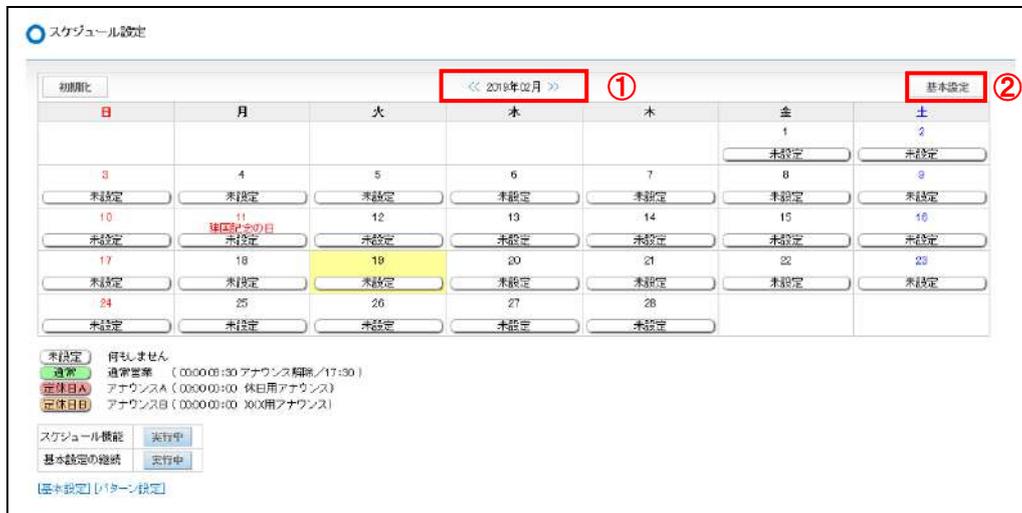
③ [スケジュール設定] を押します。

以上で基本設定が完了しました。引き続き、スケジュール設定を行います。

3. スケジュール設定

1. 「スケジュール設定」画面を表示します。

※うまく画面遷移しない場合は、設定画面内「スケジュール管理」の「スケジュール設定」から開きます。



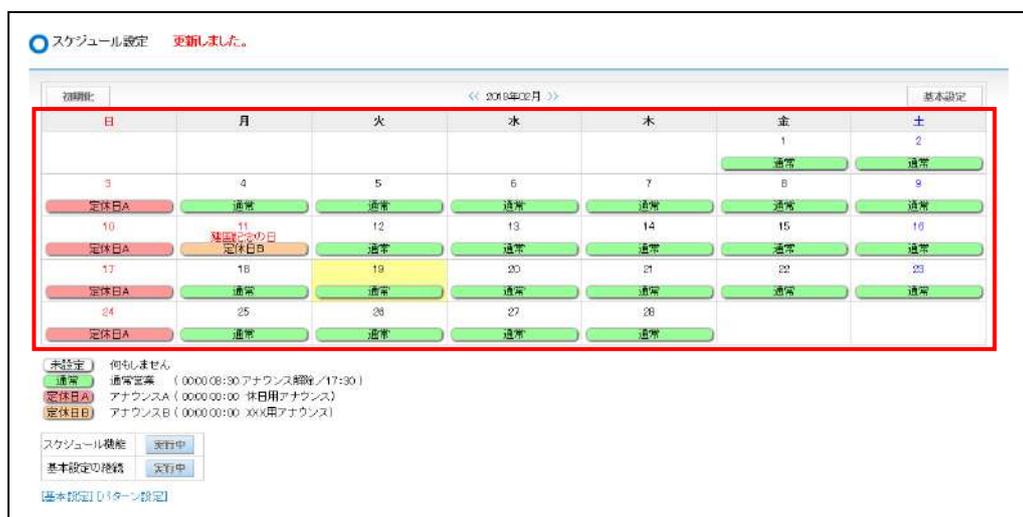
①設定を行いたい月を選択し、カレンダーを表示します。

②「基本設定」ボタンを押下します。

③「基本設定を反映してよろしいですか」というメッセージを表示します。「OK」ボタンを押します。



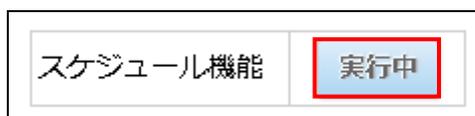
各曜日、および祝日に対し、基本設定にて設定したパターンを一括で設定します（即時反映です）。



- ④指定した日にちに対し、個別設定を行う場合は、対象の日付の設定表示部分を押し、パターンを選択しなおします。※選択したパターンは即時反映されます。



2. 「スケジュール機能」にて「実行中」に設定します。



【スケジュール機能】

実行中	スケジュール機能（カレンダー画面）で選択したスケジュールが動作します。
停止中	スケジュール機能（カレンダー画面）でパターンを設定していてもスケジュール動作しません。

3. 「基本設定の継続」にて「実行中」に設定します。



【基本設定の継続】

実行中	毎月 27 日～月末までの毎日、23 : 55 に翌月のカレンダー設定をチェックして、基本設定のボタンが押されていない場合に基本設定を反映させます。 (V5.12.3 の場合)
停止中	基本設定の反映をしません。

設定に誤りがあると、思わぬ動作（ずっと留守電になり着信しない等）となる場合があります。設定後、必ず設定内容を見直ししてください。

また、月ごとに設定が必要です。「未来日の設定がされていない」、「仮の予定で設定していて、修正し忘れていた」、などで思わぬ動作となる場合があります。

定期的に設定内容をご確認いただけますようお願いいたします。

以上でスケジュール設定が完了しました。

4. 各種応答メッセージの内容を設定（変更）する

各種応答メッセージの内容を設定（変更）する場合は、以下の2パターンの設定方法のいずれかにて設定を行います。
※それぞれ電話機からの操作が必要です。

■方法1：標準音声を設定する
MOT/PBXに内蔵している標準音声を
応答メッセージに使用します。

■方法2：録音を設定する
留守電メッセージを吹き込み
応答メッセージに使用します。

■方法1：標準音声を設定する

標準音声用の番号にダイヤルし、標準音声を設定します。

1. 標準音声用の番号にダイヤルし、標準音声を設定する

- ① 受話器を置いたまま、標準音声用の番号にダイヤルします。（注）
例：留守番メッセージ1の標準音声を設定する場合は
「*」「2」「7」「*」「1」「1」「1」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ ガイダンスが流れます。
- ④ 受話器を置くと設定が完了します。

（注）次ページの対応表を確認し、対応する番号を手順1にてダイヤルして設定を行ってください。

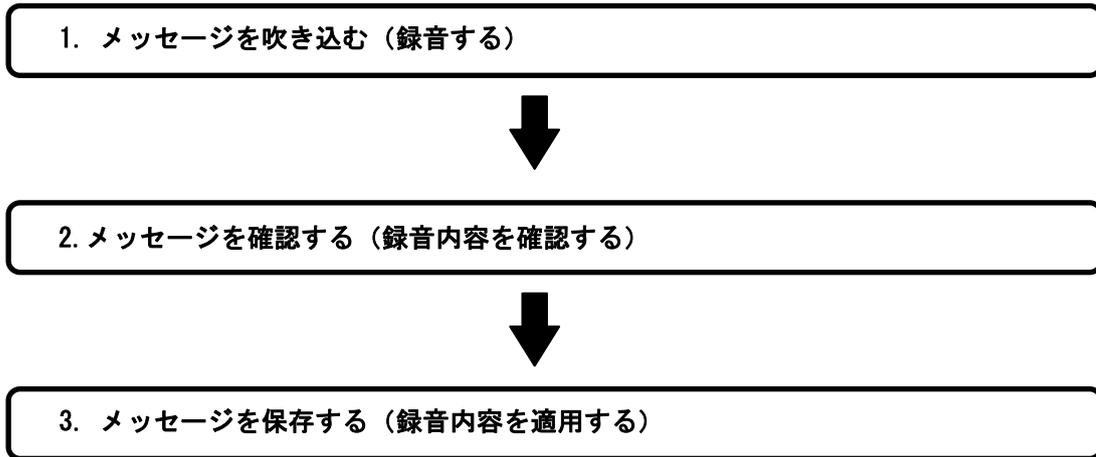
【留守番電話の標準音声を設定する場合】

留守番電話 1	【標準音声】 * 27 * 111
	本日の業務は終了しました。ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話 2	【標準音声】 * 27 * 121
	只今、電話に出ることができません。 ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話 3	【標準音声】 * 27 * 131
	お掛けになった電話は現在でることができません。 “ピー”となったら、メッセージを録音してください。
留守番電話 4	【標準音声】 * 27 * 141
	“ピー”と鳴ったら、メッセージを録音してください。
留守番電話 5	【標準音声】 * 27 * 151
	只今、留守にしております。 ご用件をピーと言う音の後に話し下さい。

【アナウンスサービスの標準音声を設定する場合】

アナウンスサービス 1	【標準音声】 * 27 * 211
	本日の業務は終了しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス 2	【標準音声】 * 27 * 221
	お電話ありがとうございます。本日の営業は終了致しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス 3	【標準音声】 * 27 * 231
	ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。
アナウンスサービス 4	【標準音声】 * 27 * 241
	只今、電話に出ることができません。恐れ入りますが改めてお電話をいただけますようお願いいたします。
アナウンスサービス 5	【標準音声】 * 27 * 251
	お掛けになった番号は電波が届かない場所か、 電源が入っていないため掛かりません。

■方法2：録音を設定する



1. メッセージを吹き込む (録音する)

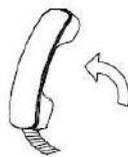
- ① 受話器を置いたまま、「*」「2」「5」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ ガイダンスが流れます。「ピー」という発信音の後に、メッセージを録音してください」
- ④ 「ピー」という発信音の後に、受話器に向かって、録音するメッセージを吹き込みます。
- ⑤ 吹き込み後、通話を切断します。
※受話器を置くとガチャと音が入るので、手でフックを押して切断して下さい。
※メッセージは最長 120 秒間、吹き込むことが可能です。

2. メッセージを確認する (録音内容を確認する)

- ① 受話器を置いたまま、「*」「2」「6」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ 吹き込んだメッセージが受話器から再生されます。

※メッセージの吹き込みをやり直す場合は、再度「1. メッセージを吹き込む」からやり直してください (上書きされます)。

3. メッセージを保存する（録音内容を適用する）

①受話器を置いたまま、録音内容を適用する際の番号をダイヤルします。（注）

例：アナウンスサービス1に録音を適用するときは「*」「2」「7」「*」「2」「1」「0」とダイヤルします。

留守番メッセージ1に録音を適用するときは「*」「2」「7」「*」「1」「1」「0」「1」となります。

②受話器を上げます。



③ガイダンスが流れます。「メッセージは保存されました」

④受話器を置くと設定が完了します。

（注）次ページの対応表を確認し、対応する番号をダイヤルして録音メッセージを適用してください。

【留守番電話に録音する場合】

留守番電話 1	【相手が録音する際にピー音あり】 *27*1101
	【ピー音なし】 *27*1100
留守番電話 2	【相手が録音する際にピー音あり】 *27*1201
	【ピー音なし】 *27*1200
留守番電話 3	【相手が録音する際にピー音あり】 *27*1301
	【ピー音なし】 *27*1300
留守番電話 4	【相手が録音する際にピー音あり】 *27*1401
	【ピー音なし】 *27*1400
留守番電話 5	【相手が録音する際にピー音あり】 *27*1501
	【ピー音なし】 *27*1500

※相手方が録音を開始する際のピー音（ピーという音の後に録音を開始する）については、
【ピー音あり】 または **【ピー音なし】** を選択できます。
「ピーという音の後に・・・」と吹き込んだのに**【ピー音なし】**に設定すると、ピー音が鳴りません。
実際に吹き込むメッセージの内容と、**【ピー音あり】** または **【ピー音なし】** の設定を合わせて
ください。

【アナウンスサービスに録音する場合】

アナウンスサービス 1	*27*210
アナウンスサービス 2	*27*220
アナウンスサービス 3	*27*230
アナウンスサービス 4	*27*240
アナウンスサービス 5	*27*250

設定例：年末年始休暇などの長期休暇の際に、留守番メッセージを録音応答させる場合

年末年始休暇やゴールデンウィークなどの長期休暇の際には、休暇に入る前に留守番メッセージを吹き込みます。また、休暇明けに留守番メッセージを休暇前のメッセージに戻します。

例：以下の例では、下記の条件にて設定を行っています。

【パターン設定にて、夕方の 18 時から留守応答、朝の 9 時に留守応答を解除する設定】

【パターン設定にて、留守番メッセージ 1 での応答を設定】

【12 月 28 日まで営業で、12 月 29 日から休業、翌年 1 月 4 日から営業を開始する】

【12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まではパターン設定を未設定（留守電のままにする）】

この例の場合 12 月 28 日朝の、留守電解除～夕方の留守電開始までに、以下の手順にて電話機より留守番メッセージを録音し、留守番メッセージ 1 に保存します。

1. メッセージを吹き込む（録音する）※この例の場合は 12/28 の日中に実施

- ① 受話器を置いたまま、「*」「2」「5」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ ガイダンスが流れます。「ピーという発信音の後に、メッセージを録音してください」
- ④ 「ピー」という発信音の後に、受話器に向かって、録音する応答メッセージを吹き込みます。

録音例：今年の営業は終了しました。誠に恐れ入りますが、営業時間内におかけ直してください。
ご用件のある方は、ピーという音の後に、メッセージを録音してください。
なお、冬期休業は 12 月 29 日から、翌年 1 月 3 日となります。
お預かりしましたメッセージの確認、および対応は、1 月 4 日以降順次対応となりますので、あらかじめご了承ください。
お電話ありがとうございました。

※この後の手順で「ピー音あり」で設定することを前提にしています。
※あくまで一例となります。お客様にて録音内容をご用意ください。

⑤ 吹き込み後、通話を切断します。

※受話器を置くとガチャと音が入るので、手でフックを押して切断して下さい。
※メッセージは最長 120 秒間、吹き込むことが可能です。

2. メッセージを確認する（録音内容を確認する）

- ①受話器を置いたまま、「*」「2」「6」とダイヤルします。
- ②受話器を上げます。



- ③吹き込んだメッセージが受話器から再生されます。

※メッセージの吹き込みをやり直す場合は、再度「1. メッセージを吹き込む」からやり直してください（上書きされます）。

3. メッセージを保存する（録音内容を適用する）

- ①受話器を置いたまま、「*」「2」「7」「*」「1」「1」「0」「1」とダイヤルします。
※本例はパターン設定にて留守番メッセージ1をご利用いただいている場合のダイヤル番号です。
※「ピー音あり」で設定しています。
- ②受話器を上げます。



- ③ガイダンスが流れます。「メッセージは保存されました」
- ④受話器を置くと設定が完了します。

（この後、休暇中となります。）

休暇中は録音したメッセージが流れ、ピー音の後に相手が用件を吹き込みます。）

4. 休暇明けにメッセージを解除する（留守番メッセージを再度変更する）※1/4の日中に実施 メッセージが変更されているため、通常設定しているメッセージに、設定を戻す必要があります。

【メッセージを吹き込みしなおして留守番メッセージを変更する場合】

本手順の1～3を再度実施し、留守番メッセージを変更して下さい。

【標準音声を利用する場合】

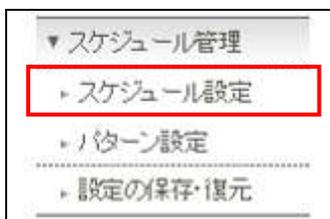
- ①受話器を置いたまま、「*」「2」「7」「*」「1」「1」「1」とダイヤルします。
※本例はパターン設定にて留守番メッセージ1をご利用いただいている場合のダイヤル番号です。
- ②受話器を上げます。
- ③ガイダンスが流れます。
- ④受話器を置くと設定が完了します。

5. スケジュール設定を初期化する

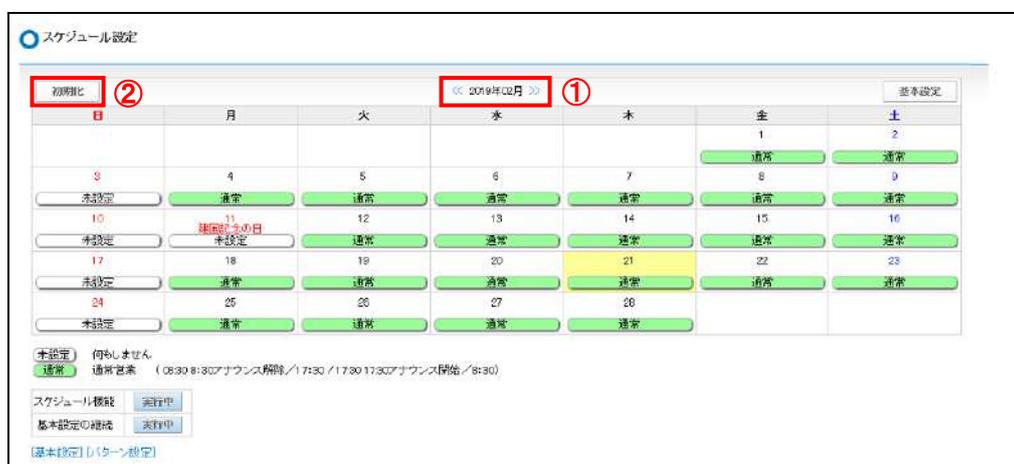
スケジュール設定およびパターン設定を全て初期化します。

※スケジュール設定およびパターン設定を全て削除します。削除後の復活はできませんので
ご注意ください。

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「スケジュール設定」をクリックします。



2. 「スケジュール設定」画面を表示します。



①初期化を行いたい月を選択し、カレンダーを表示します。

②「初期化」ボタンを押下します。

③「設定を初期化してよろしいですか」メッセージを表示します。「OK」ボタンを押します。



以上でスケジュール設定の初期化が完了となります。

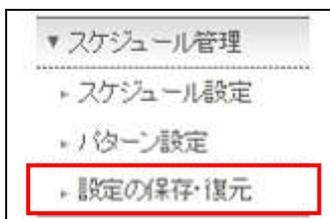
改めてスケジュールを設定する場合は P23～の「指定した時間にアナウンスや留守番電話を自動設定する」の項から設定をやり直して下さい。

6. スケジュール設定を保存・復元する

設定したスケジュールパターンを保存しておくことができます。

長期休暇・催事などで一時的にパターンを変更する場合、パターンを保存しておくことで簡単に元のパターンに復元ができます。

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「設定の保存・復元」をクリックします。



2. 「設定の保存・復元」画面を表示します。「保存」ボタンを押し、スケジュール設定を出力します。



- ① 「保存」ボタンを押すと基本設定、パターン設定のファイルが出力されます。
 - ② 保存した設定ファイルを参照の上、「復元」ボタンを押すと設定を復元します。
 - ③ 「初期化」ボタンを押すとすべてのスケジュール設定を初期化します。
- ※ 「初期化」ボタンを押すとすべてのスケジュール設定が消えます。

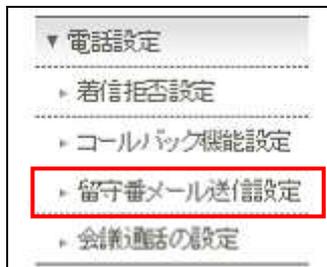
誤って必要な設定を消してしまわないように操作にはご注意願います。

6 留守番メール送信設定を行う

1. 留守電をメールで通知する

留守番が入った際、メールで通知を行いたい場合に利用します。

1. 設定画面内「電話設定」の「留守番メール送信設定」をクリックします。



2. 「留守番メール送信設定」画面が開きます。設定は内線毎に行うため、内線番号の一覧より、設定したい内線番号の「編集」リンクを押下します。



3. 留守番メール送信設定の内線毎の個別設定画面を表示します。



①留守番電話用のパスワードを入力します。

②通知先メールアドレスを設定します。

③「メール設定」にて「使用中」に設定します。

④メール通知をする際に、通知と併せて録音された音声ファイルを添付する場合は「音声ファイルの添付」を「有り」に設定します。

⑤「保存」ボタンを押下します。

4. 「留守番メール送信設定」画面に戻ります。設定内容をご確認ください。

※内線毎に設定が必要です。ほかの内線番号に設定を行う場合は手順 1~4 を繰り返します。

以上で設定は完了です。留守電が入ると、登録されたメールアドレス宛てに通知を行います。

項目	説明
パスワード	留守番電話用のパスワードを入力します。
通知先メールアドレス	留守番電話が登録された際に、メール通知する宛先アドレスを入力します。
メールの設定	留守録された場合の通知をするかどうか選択します。
音声ファイルの添付	実際に録音された音声データをメールに添付するかどうか選択します。
保存	設定を反映します。

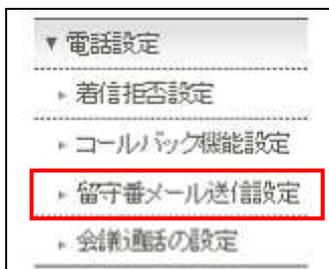
2. 留守録（相手が録音したメッセージ）を一括削除する

留守録を確認された後、蓄積されている留守録を一括削除します。

※電話機からの削除は1件毎の削除となります。留守録の一括削除はこちらをご利用ください。

※全件削除となります。削除後の復活はできませんのでご注意ください。

1. 設定画面内「電話設定」の「留守番メール送信設定」をクリックします。



2. 「留守番メール送信設定」画面が開きます。設定は内線毎に行うため、内線番号の一覧より、設定したい内線番号の「留守録全削除」リンクを押下します。



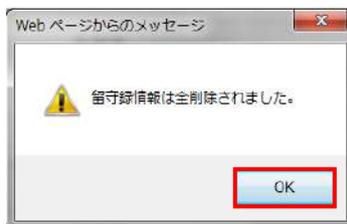
The image shows the '留守番メール送信設定' (Call Forwarding Mail Delivery Settings) screen. It features a table with the following columns: '内線番号' (Extension Number), '通知先メールアドレス' (Notification Recipient Email Address), 'メール設定' (Mail Settings), '音声の添付' (Audio Attachment), and '操作' (Action). The '操作' column contains links for each extension number: '[編集] [留守録全削除]' for 301, '[編集] [留守録全削除]' for 302, and '[編集] [留守録全削除]' for 303. The '[留守録全削除]' link for extension 301 is highlighted with a red rectangular box.

内線番号	通知先メールアドレス	メール設定	音声の添付	操作
301	*****@oc-nishin1.co.jp	未使用	無し	[編集] [留守録全削除]
302		未使用	無し	[編集] [留守録全削除]
303		未使用	無し	[編集] [留守録全削除]

3. 削除の確認メッセージを表示されたら、「OK」ボタンを押します。※全削除となります。



4. 「留守録情報は全削除されました。」と表示されます。「OK」ボタンを押します。



以上で留守電（相手が録音したメッセージ）が全削除されます。

7 電話機へ電話帳を反映する

各電話機に電話帳を反映します。

1. 電話帳の登録・追加・編集（削除）

電話帳管理内「電話帳編集」より電話帳のベースを作成します。



2. 各電話機へ電話帳を反映する

電話帳管理内「電話帳の反映」より各電話機へ電話帳を反映します。



3. 実行結果を確認する

電話帳管理内「電話機管理」より実行結果を確認します。



4. iPhone・Androidへ電話帳を即時反映する

即時反映を行う場合は各スマートフォンを操作して即時反映を行います。

1. 電話帳の登録・追加・編集（削除）

電話帳のベースを作成します。

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の編集」をクリックします。



2. 「電話帳の編集」画面を表示します。

電話帳編集	共通電話帳 ①	共通範囲 0 ~ 499	設定保存	
登録件数 500件	新規登録 ②	初期化	電話帳エクスポート	
<input type="checkbox"/> 詳細表示				
No.	表示名	フリガナ	電話番号	③ 機能
000	共通001	001	311112222	編集/削除
001	共通002	002	311112223	編集/削除
002	共通003	003	311112224	編集/削除
003	共通004	004	311112225	編集/削除

① 共通電話帳を選択します。

② 電話帳を新規登録（追加）する場合は「新規登録」を押します。

③ 登録済みのリストを表示します。修正を行う場合は「編集」を押します。

※ 削除を行う場合は「削除」を押します。

3. 編集（新規登録）画面が開きます。内容を編集（新規登録）し、「設定保存」ボタンを押します。

電話帳編集 - 共通電話帳

電話帳番号

名前

フリガナ

電話番号

短縮

ワンタッチ

グループ番号

項目	説明
電話帳番号	電話帳番号を入力します。000～499 までの数字(最大 500 個)のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
名前	名前を入力します。
フリガナ	名前のフリガナを入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
短縮	サクサ電話機の設定時に利用します。00-99 までの数字(最大 100 個)のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
ワンタッチ	サクサ電話機の設定時に利用します。01-24 までの数字(最大 24 個)のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
グループ番号	グループ番号を登録します。
設定保存	設定を保存します。
戻る	電話帳編集画面に戻ります。

以上で電話帳の登録・追加・編集（削除）が完了します。

【注意事項】

電話機から直接電話帳を入力することは推奨しておりません。

サーバー側から電話機一括反映を行う場合、電話機のデータを上書き更新するため、MOT/PBX からの設定を行ってください。

また、電話機のみに登録されている電話番号は追加登録を行えるように、事前に書き留めていただけますようお願いいたします。

2. 電話機への電話帳反映

電話帳を各電話機へ反映します。

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の反映」をクリックします。



2. 「電話帳の反映」画面を表示します。

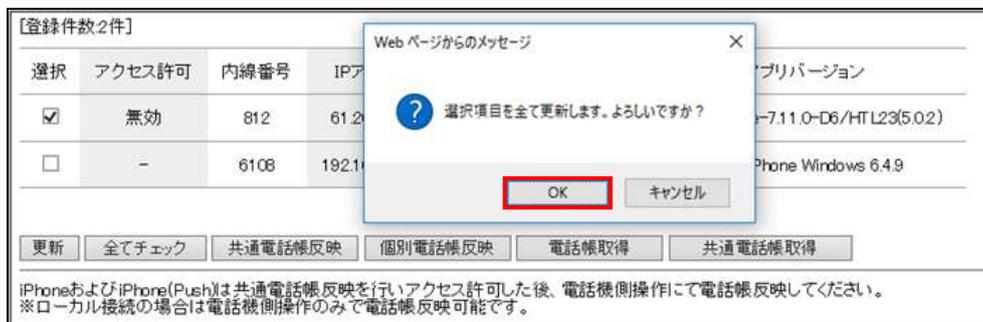


①利用する電話帳は「電話帳（電話機共通）」を選択します。

②電話機に電話帳を反映させる内線番号を選択します。

③「共通電話帳反映」ボタンを押します。

3. 更新確認画面を表示します。「OK」ボタンを押します。



3. 反映確認

電話帳反映が成功しているかどうか、ステータスを確認します。

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話機管理」をクリックします。



2. 「電話機管理」画面を表示します。ステータス欄が「成功」になっていることを確認します。
※「確認中」の表示はナカヨ・サクサの電話機のみが表示となっております。

A screenshot of the '電話機管理' (Phone Management) screen. It features a table with the following columns: '削除' (Delete), '日時' (Date/Time), '内線番号' (Internal Line Number), '操作' (Operation), 'IPアドレス' (IP Address), '利用する電話帳' (Phone Book Used), and 'ステータス' (Status). The table contains two rows of data. The second row's status is '成功' (Success), which is highlighted with a red box. Below the table are three buttons: '更新' (Refresh), '全てチェック' (Check All), and '削除' (Delete).

削除	日時	内線番号	操作	IPアドレス	利用する電話帳	ステータス
<input type="checkbox"/>	2013/06/04 09:35:02	303	電話帳反映	192.168.1.237	サクサ電話帳	実行待ち
<input type="checkbox"/>	2013/06/03 19:57:35	304	電話帳反映	192.168.1.160	サクサ電話帳	成功

【失敗】と表示されている場合

作業時に通話中や、電話機の受話器が上がっていたなどの原因で登録ができなかった場合、ステータスが「失敗」となります。

該当の内線番号にのみチェックをつけて、再度【2. 電話機への電話帳反映】手順をお試しください。

4. iPhone・Androidへ電話帳を即時反映する

共通電話帳（MOT/PBX）は登録・変更後の翌日 AM2:00～AM:5:00 の間に自動更新します。

自動更新させる場合は、MOT/Phone 設定で共通電話帳自動更新を ON に設定してください。

変更後、即時反映させたい場合は、各スマートフォンにて以下の操作をして反映を行います。

MOT/Phone(iPhone 版)の場合

「設定」タブで、共通電話帳の同期元を選択します

MOT/PBX を選択します

「電話帳」タブで、上部中央を選択します

画面を下にスワイプすると電話帳が最新になります

MOT/Phone(Android 版)の場合

「電話帳機能の設定」を選択します

「共通電話帳の選択」で、PBX 電話帳を選択します

【電話帳】-【共通電話帳】画面で本体のメニューボタンを押し【一覧更新】を押すと電話帳が最新になります

【共通電話帳自動更新が可能な機種およびバージョン】

MOT/PBX 側

対応機種	MOT/PBX S-V1+B、MOT/PBX S-V1、MOT/PBX M-V2+B、MOT/PBX M-V2、 MOT/PBX M-V1+B、MOT/PBX M-V1、MOT/Server、MOT/PRO(OSバージョン5)
対応バージョン	外線バージョン:5.12.1 内線バージョン:2.23.4-2

アプリ	バージョン
MOT/Phone (iPhone 版)	V6.3.0 以降
MOT/Phone (Android 版)	V7.14.0 以降
MOT/Phone (Windows 版)	V4.9.0 以降

※スマートフォンで無線 LAN 経由でのグローバル接続(公衆無線 LAN 利用等)を行っている場合、電話帳を同期する事ができません。電話帳の反映がうまくいかない場合はネットワーク環境を変更して再度反映をお試しください。

以上で設定は完了です。

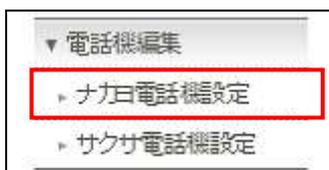
8 SIP 電話機（ナカヨ・サクサ）の設定

電話機の中の設定を呼び出し、書き換えて電話機に再度書き込む手順について説明します。

1. ナカヨ電話機の設定を変更する

内線番号毎に電話機の設定を行います。（例：転送や代理応答などの設定を行います。）

1. 設定画面内「電話機編集」の「ナカヨ電話機設定」をクリックします。



2. 「ナカヨ電話機設定」画面を表示します。編集したい内線番号の「編集」をクリックします。

選択	親機	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
<input type="checkbox"/>		1	302	ST101A	192.168.10.201	[編集]
<input type="checkbox"/>		2	305	SW101A	192.168.10.202	[編集]

項目	説明
検索対象	電話機を検索する条件を入力します。
選択	設定反映を行う電話機を選択します。
親機	親機設定されている内線電話機を表示します。
No.	登録順に電話機を表示します。
内線番号	内線番号を表示します。
機種名称	電話機の名称を表示します。
IP アドレス	電話機の IP アドレスを表示します。
編集	電話機の設定画面へ移動します。

3. 以下の設定画面が表示されます。

各項目を設定し、「設定保存」ボタンを押します。

端末設定管理	
ユーザID	302
時刻表示形式	12時間制
自己電話番号表示	表示する
待機画面選択	内線番号表示
コントラスト調整	2
バックライト設定	使用時点灯
送話音量	初期値(±0)
キー確認音	有効
スピーカからの保留音送出	送出する
電話帳利用区分	共通電話帳を利用する

【電話帳番号の確認方法】

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の編集」をクリックします。
2. 電話帳編集画面で顧客を選択し、「編集」をクリックします。
3. 選択した顧客の登録情報が表示されます。「電話帳番号」を確認します。

◆プログラマブルキー設定
※本設定ではキー番号=グループ番号の簡易設定を行うため、詳細画面設定/電話機側で設定された値が強制変更・非表示になる場合がありますのでご注意ください。

プログラマブルキー設定					
19	未使用 000	20	未使用 000	21	未使用 000
13	未使用 000	14	未使用 000	15	未使用 000
07	未使用 000	08	未使用 000	09	未使用 000
01	ラインキー 000	02	ラインキー 000	03	未使用 000
				04	ワンタッチダイヤル 001
				05	未使用 000
				06	未使用 000

ワンタッチダイヤルを設定する際は、電話帳の電話帳番号を入力します。

設定保存 戻る

項目	説明
時刻表示形式	電話機画面の時刻表示形式を設定します。
自己電話番号表示	電話機画面に自己電話番号表示の有無を設定します。
待機画面選択	待機画面で表示される画面の設定をします。
コントラスト調整 ※	電話機画面のコントラスト(濃さ)を調整します。
バックライト設定 ※	電話機画面のバックライト点灯条件を設定します。
送話音量 ※	電話機の送話音量を調整します。
キー確認音	ボタン押下時の音の送出有無を設定します。
スピーカからの保留音送出	通話を保留した際、電話機のスピーカから保留音送出の有無を設定します。
電話帳利用区分	利用する電話帳区分を共通/個別から選択します。
プログラマブルキー設定	
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルの設定をします。

『※』は無線コードレス電話機では表示されません。

4. 以下の設定画面が表示されます。

設定を反映させる内線番号を選択し、「設定反映」ボタンを押します。

登録端末一覧

検索対象 ユーザーID 検索

※ : 内線番号の電話機種類と一致しません。[編集]又は[詳細編集]より再度設定してください。

選択	親機	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
<input checked="" type="checkbox"/>		1	301	ST101B	192.168.0.001	[編集]
<input type="checkbox"/>		2	304	ST101B	192.168.0.002	[編集]

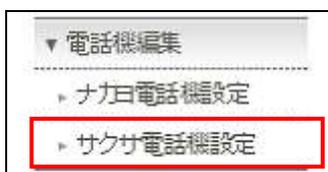
全選択

以上で設定は完了です。

2. サクサ電話機の設定を変更する

内線番号毎に電話機の設定を行います。(例：転送や代理応答などの設定を行います。)

1. 設定画面内「電話機編集」の「サクサ電話機設定」をクリックします。



2. 「サクサ電話機設定」画面を表示します。編集したい内線番号の「編集」をクリックします。



項目	説明
検索対象	電話機を検索する条件を入力します。
選択	設定反映を行う電話機を選択します。
No.	登録順に電話機を表示します。
内線番号	内線番号を表示します。
機種名称	電話機の名称を表示します。
IP アドレス	電話機の IP アドレスを表示します。
編集	電話機の設定画面へ移動します。

3. 以下の設定画面が表示されます。

各項目を設定し、「設定保存」ボタンを押します。

端末設定編集

※ : NP320(SX II)に反映できない設定値

ユーザID	301
送話音量	初期値(±0) ▼
LCDバックライト	10秒 ▼
電話帳利用区分	共通電話帳を利用する ▼

フレキシブルキー設定

19	20	21	22	23	24
空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない
13	14	15	16	17	18
空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない
07	08	09	10	11	12
空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない	空き ▼ 捕捉しない
01	02	03	04	05	06
マルチライン 9501 61捕捉しない	マルチライン 9502 62捕捉しない	空き ▼ ワンタッチ 短縮	ワンタッチ ▼ 1	短縮 ▼ 02	空き ▼ 捕捉しない

ワンタッチを設定する場合は、電話帳に登録したワンタッチ番号を入力します。

短縮を設定する場合は、電話帳に短縮登録した番号を入力します。

設定保存 戻る

項目	説明
送話音量	電話機の送話音量を調整します。
LCD バックライト	電話機画面のバックライト点灯条件を設定します。
電話帳利用区分	利用する電話帳区分を共通/個別から選択します。
フレキシブルキー設定	
ワンタッチ	ワンタッチの設定をします。
短縮	短縮の設定をします。

【ワンタッチ番号／短縮番号の確認方法】

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の編集」をクリックします。
2. 電話帳編集画面で顧客を選択し、「編集」をクリックします。
3. 選択した顧客の登録情報が表示されます。「ワンタッチ番号」／「短縮番号」を確認します。

4. 以下の設定画面が表示されます。

設定を反映させる内線番号を選択し、「設定反映」ボタンを押します。

登録端末一覧

検索対象 ユーザーID 検索

※ : 内線番号の電話機種類と一致しません。[編集]又は[詳細編集]より再度設定してください。

選択	親機	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
<input checked="" type="checkbox"/>		1	301	ST101B	192.168.0.001	[編集]
<input type="checkbox"/>		2	304	ST101B	192.168.0.002	[編集]

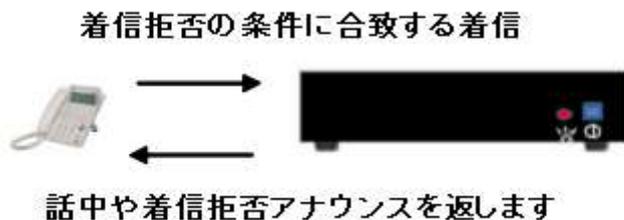
全選択

以上で設定は完了です。

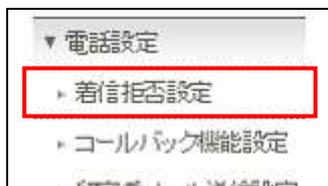
9 着信拒否を行う

外部からの着信に対し、着信拒否を行いたい場合に設定します。

例：非通知の電話は着信拒否にする、特定の番号からの着信は着信拒否にする、等



1. 設定画面内「電話設定」の「着信拒否設定」をクリックします。



2. 「発着信番号拒否設定」画面が開きます。

○ 発着信番号拒否設定

分類	ITSP番号 ①
電話番号	0311110001 ②
発信先番号条件	<input type="radio"/> 先頭一致 <input checked="" type="radio"/> 完全一致 <input type="radio"/> 部分一致 ③
発信先桁数	桁から100 桁まで ④
対象発信元	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 非通知 <input type="radio"/> サービス整合 <input type="radio"/> 公衆電話 <input type="radio"/> 通知圏外 <input checked="" type="radio"/> 番号指定 0355000000 ⑤
発信元番号条件	<input type="radio"/> 先頭一致 <input type="radio"/> 完全一致 <input type="radio"/> 部分一致 ⑥
発信元桁数	桁から100 桁まで ⑦
着信動作	<input type="radio"/> 着信許可 <input type="radio"/> エラーコード返送 [486] <input checked="" type="radio"/> アナウンス応答 [着信拒否アナウンス1] ⑧

⑨

電話番号	発信先番号条件	発信先桁数	対象発信元	発信元番号条件	発信元桁数	着信動作	コマンド
0311110001	完全一致	~100	0355000000	先頭一致	~100	486	[編集] [削除]
0311110001	完全一致	~100	0355000000	先頭一致	~100	着信拒否アナウンス1	[編集] [削除]

※上記の例の場合は受信側「03-1XXX-XXXX（特定の番号）」に対して「03-5XXX-XXXX（特定の番号）」より発信された（電話をかけた）場合は「着信拒否アナウンス1」を返します。

3. ①分類を選択します。NTT ひかり電話や FUSION 番号は「ITSP 番号」を ISDN 番号は「その他」を選択します。



※この例は NTT ひかり電話や FUSION 番号のため、「ITSP 番号」を選択しています。

4. ②受信側（対象の電話機）の電話番号を入力します。

※お客様のご契約されているお電話番号のうち、これから設定を行いたい電話番号を市外局番から入力します。

※空欄の場合は、ご契約のお電話番号すべてに、着信拒否設定を適用します。



5. ③発信先番号（受信する番号）について「先頭一致」、「完全一致」、「部分一致」のいずれの条件で発信番号の範囲を設定するかを設定します。



※「先頭一致」、または「部分一致」を選択した場合は、④「発信先桁数」も併せて設定が必要です。

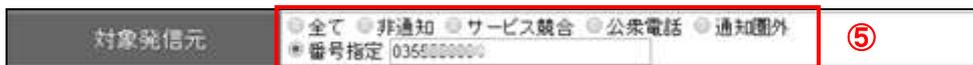


6. ⑤『全て/非通知/サービス競合/公衆電話/通知圏外/番号指定』のいずれの条件で着信拒否を行うかを設定します。

※番号指定がある場合は番号指定を選択し、着信拒否する電話番号を市外局番から入力します。

※番号指定を選択し、電話番号入力欄が空欄の場合は『全て』と同じ動作となります。

※対象発信元として外線番号を指定する場合、6桁以下の番号を登録することはできません。



7. 発信元番号（拒否したい番号）について「先頭一致」、「完全一致」、「部分一致」のいずれの条件で発信番号の範囲を設定するかを設定します。



※「先頭一致」、または「部分一致」を選択した場合は、⑦「発信元桁数」も併せて設定が必要です。



8. ⑧拒否条件に該当する電話が着信した場合に『着信許可/エラーコード返送/アナウンス応答』のいずれの条件で応答するかを設定します。



※エラーコード返送については「486(話中音)」を設定してください。

(486以外を設定された場合は、回線事業者の自動ガイダンスが流れる場合があり、動作保証外となります。)

※アナウンス応答については、以下のいずれかを選択します。

着信拒否アナウンス	ガイダンス内容
着信拒否アナウンス1	電話番号の前に 186 をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください
着信拒否アナウンス2	貴方の番号を通知してお掛け直してください
着信拒否アナウンス3	お客様のご都合により、通話ができなくなっています
着信拒否アナウンス4	お客様のご要望により、おつなぎすることができません
着信拒否アナウンス5	この電話は、お客様のご希望によりおつなぎ出来ません

9. ⑨「追加」ボタンを押下します。設定内容を確認の上、「保存」ボタン、「即時反映」ボタンの順にボタンを押します。※設定を反映するため、必ず即時反映ボタンを押してください。



10. 以上で、着信拒否が設定されます。

着信拒否を登録すると、一番下に現在登録中の⑩着信拒否一覧が表示されます。

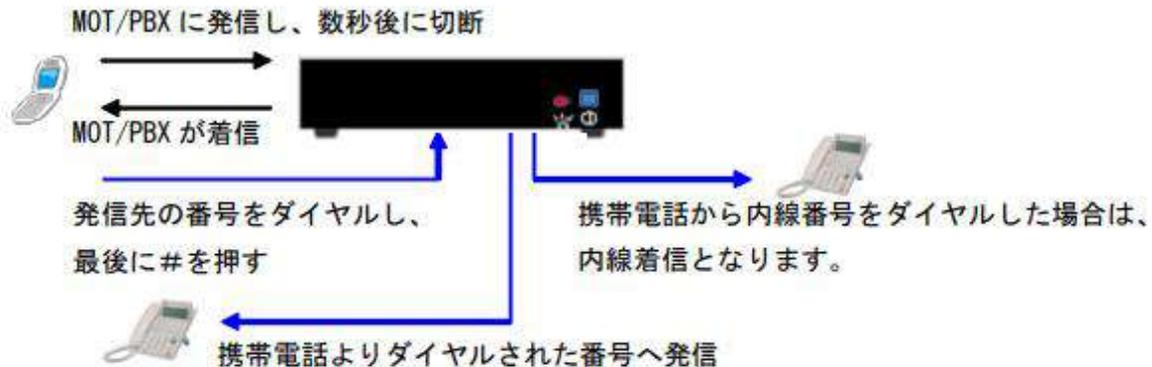
電話番号	発信先番号条件	発信先桁数	対象発信元	発信元番号条件	発信元桁数	着信動作	コマンド
0311110001	完全一致	~100	0350000000	先頭一致	~100	486	[編集][削除]
0311110001	完全一致	~100	0350000000	先頭一致	~100	着信拒否アナウンス1	[編集][削除]

項目	説明
① 分類	NTT ひかり電話や FUSION 番号は「ITSP 番号」を ISDN 番号は「その他」を選択します。
② 電話番号	着信拒否を設定する電話機の電話番号を市外局番から入力します。 入力なしの場合、「全て」が選択されます。
③ 発信先番号条件	着信拒否を設定する電話機(電話番号)の対象範囲について、条件設定を行います。
④ 発信先桁数	発信先番号条件で、「先頭一致」「部分一致」を選択した際の桁数を指定します。
⑤ 対象発信元	どのような着信に対し、拒否を行うかの条件設定を行います。 特定の番号からの着信を拒否する場合はその電話番号を市外局番から入力します。
⑥ 発信元番号条件	対象発信元に電話番号の条件を選択します。
⑦ 発信元桁数	発信元番号条件で、「先頭一致」「部分一致」を選択した際の桁数を指定します。
⑧ 着信動作	着信した際の動作を、「着信許可」「エラーコード返送」「着信拒否アナウンス1～5」から選択します。
⑨ 各種適用ボタン	<p>「追加」 着信拒否の判定条件を追加します。</p> <p>「修正」 設定情報を修正します。</p> <p>「初期化」 着信拒否の判定条件を初期化します。 ※初期化すると着信拒否は行われません。</p> <p>「保存」 着信拒否の判定条件を保存します。</p> <p>「即時反映」 着信拒否の判定条件を反映させます。</p>
⑩ 着信拒否条件一覧	登録済みの着信拒否一覧を表示します。

10 コールバック機能を使って発信する

携帯電話から MOT/PBX の電話番号を利用して発信する機能です。

発信は MOT/PBX の電話番号を利用するので携帯電話の通話料金はかかりません。



予め登録した携帯電話（※）から MOT/PBX に発信し 設定した秒数以内に切断します。

自動で MOT/PBX から携帯電話に折り返しがきますので電話に出ます。

通話開始後、「プププ・・・」と音が鳴りますので、発信先の番号をダイヤルし、最後に#を押します。

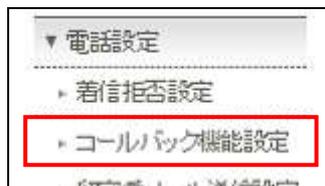
発信先は、外線番号、内線番号共に発信可能です。

※外線発信を行う場合は、あらかじめ工事者設定が必要です。

※内線へのみ発信する場合は、初期設定のままご利用いただくことができます。

※本項では、コールバックを使用する携帯電話番号の設定や、その他コールバック機能の設定を行います。

1. 設定画面内「電話設定」の「コールバック機能設定」をクリックします。



2. 「コールバック機能設定」画面が開きます。

- ① 「呼び返しタイマ」にてコールバック要請と認識するコールを何秒以内の切断とします。※10 秒以下を推奨。
- ② コールバック機能を利用する携帯電話の番号を入力します。
- ③ コールバック機能用の電話番号（MOT/PBX シリーズ の電話番号）を設定します。
- ④ 「400」を設定します。
- ⑤ 「追加」ボタンを押します。設定内容を確認の上、「保存」ボタン、「即時反映」ボタンの順にボタンを押します。※設定を反映するため、必ず反映ボタンを押してください。

以上で設定は完了です。

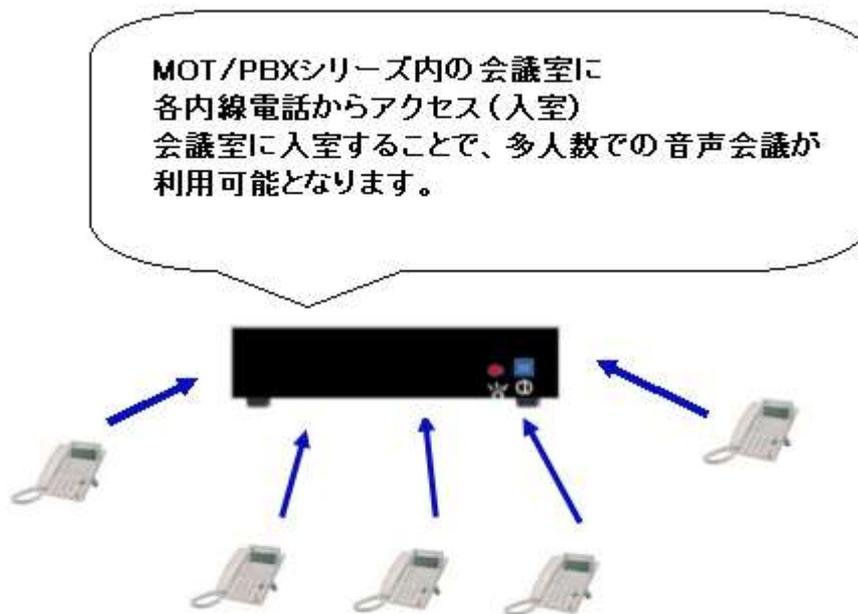
発信者許可番号に登録された電話番号（携帯電話）より「コールバック用電話番号」に発信、呼び返しタイマの秒数内に切断すると、折り返し電話がかかります。着信後、発信先の番号をダイヤルし、最後に#を押すことで、MOT/PBX を経由して発信されます。

項目	説明
①呼び返しタイマ	設定された秒数以内の着信切断に対しコールバックを行います。※10秒以下を推奨。
②発信者許可番号	コールバック機能を利用する携帯電話の番号を入力します。
③コールバック番号	コールバック機能用の電話番号(MOT/PBX シリーズ の電話番号)を設定します。
④内線番号	「400」を設定します。
⑤各種適用ボタン	「追加」 着信拒否の判定条件を追加します。 「修正」 設定情報を修正します。 「初期化」 コールバック機能設定を初期化します。 「保存」 コールバック機能設定を保存します。 「即時反映」 コールバック機能設定を反映させます。
⑥コールバック機能 設定一覧	登録済みのコールバック機能設定一覧を表示します。

11 音声会議を利用する

ご利用の内線電話機で音声会議を利用することができます。

※会議通話の利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。



各内線電話から会議室番号に電話をかけて入室する

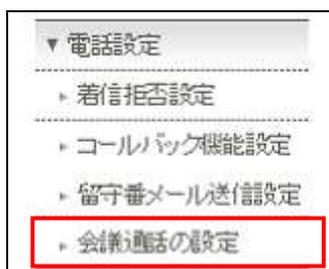
MOT/PBX シリーズ内に会議室を作成し、各内線電話から会議室番号に電話をかけると会議室に入室します。

入室中のメンバーは音声会議を行うことができます。

※会議室番号は工事者設定が必要です。

本項では MOT/PBX シリーズ内に会議室の利用設定について説明しています。

1. 設定画面内「電話設定」の「会議通話の設定」をクリックします。



2. 「会議通話の設定」画面が開きます。

会議室番号	パスワード	入退室の通知	状態
411	<input checked="" type="radio"/> 有効 123	<input checked="" type="checkbox"/> 通知する	利用可能
	<input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	<input type="checkbox"/> 通知する	利用不可
	<input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	<input type="checkbox"/> 通知する	利用不可
	<input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	<input type="checkbox"/> 通知する	利用不可
	<input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	<input type="checkbox"/> 通知する	利用不可

会議通話の利用 利用する 利用しない

設定 更新

- ① 「会議通話の利用」にて「利用する」を選択します。
- ② 会議室番号に対し、「有効」を選択します。また、会議への入出時に必要なパスワードを設定します。
- ③ 「入退室の通知」にて「通知する」に設定した場合は、入室時に「お名前」の録音を行います。
- ④ 「設定」ボタンを押下します。

以上で MOT/PBX シリーズ内にて会議室を利用する設定が完了しました。

【グループ通話の利用方法】

1. 内線電話から会議室番号に電話を掛けます。
※上記例の場合は会議室番号は「411」なので「411」に発信します。
※会議室番号はお客様ごとに異なります。「会議通話の設定」画面にて
会議室番号をご確認ください。
2. パスワードを設定されている場合は、パスワードを入力します。
3. MOT/PBX シリーズの会議室機能が応答します。
「入退室の通知」にて「通知する」に設定した場合は、お名前の録音を促されるので、
名前を言って「#」を入力します。
3. 以上で入室が完了します。入室済みのメンバーと多人数の会話（音声会議）ができます。

12 顧客情報表示機能（CTI）が参照する顧客データについて

着信するとパソコンの画面上に顧客情報がPOPアップで表示されます。

これを顧客情報表示機能（CTI）といいます。

POPアップには、発信相手の名前、電話番号、所在地、FAX番号などを表示します。

更に自社側の担当者も表示しますので、スムーズな取次が出来ます。

※あらかじめ MOTPhone-POP のインストールおよび、設定が必要です。

※顧客情報を登録しても、電話帳には反映されません。

電話機に電話帳を設定する方法は「7 電話機へ電話帳を反映する」の項をご確認ください。

本項では、CTI が参照する顧客情報の登録方法などを説明します。



1. 顧客情報を登録する

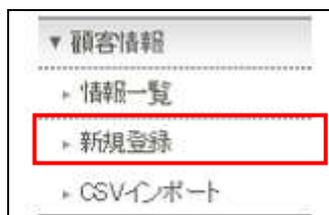
顧客情報を1件ずつ登録する場合は、以下の手順にて登録を行います。

※以下の設定を実施後、即時に反映されます。

※顧客情報は最大10,000件まで登録できます。

※顧客情報をまとめて登録する場合は「3. 顧客情報を一括で取り込む（CSVファイル取込）」の項をご確認ください。

1. 設定画面内「顧客情報」の「新規登録」をクリックします。



2. 「連絡先情報の設定」画面が開きます。

①顧客情報を入力します。

②「優先着信先」を設定すると、誰に優先的に着信するか設定できます。

特に指定がない場合は「優先着信先：固定値」、「着信先内線番号は空欄」にて設定します。

③「区分」、「電話番号」を入力します。

「番号追加」ボタンを押すことで複数個の電話番号（例：固定電話と携帯電話など）を入力できます。

④「情報保存」ボタンを押下します。

以上で顧客情報が新規登録されます。

*は入力必須項目です。

◆顧客情報

項目	説明	
ユーザ ID	保存時に自動的に ID が割り振られます。	
名称*	顧客名称を入力します。	
フリガナ	名称のフリガナを入力します。	
郵便番号	所在地の郵便番号(数値 7 桁)を入力します。	
国番号	所在地の国番号を入力します。(初期値:81[日本])	
都道府県	所在地の都道府県を選択します。海外等の場合は[その他]を選択します。	
市区町村・番地	所在地の都道府県以降の住所を入力します。	
会社名	顧客の会社名を入力します。	
メールアドレス	メールアドレスを入力します。	
URL	サイトの URL を入力します。	
FAX	FAX 番号を入力します。	
ユーザ区分	顧客の区分を選択します。	
	外部会社	取引先等、自社以外の組織の場合に選択します。
	外部個人	社外の個人の情報の場合に選択します。
	内部会社	自社の関連会社等の場合に選択します。
	内部個人	社内の個人の情報の場合に選択します。
優先着信先	優先着信先の設定を行います。	
	固定値	[着信先番号]に入力した内線番号に優先着信します。
	前到着信先	最終通話した内線番号に優先着信します。 ※基本設定の最終通話者判定の設定によりキャンセルを含め ます。
	自動判定	前日までの通話回数によって、優先着信する内線番号を自動 判定します。
備考	備考を入力します。	
情報保存ボタン*	画面の入力情報をデータベースに保存します。	

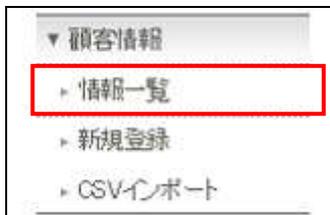
◆登録番号

項目	説明
区分	電話番号の区分を選択します。 会社/自宅/携帯(会社)/携帯(個人)/IP フォン/PHS
電話番号*	電話番号を入力します。
番号追加ボタン	入力した電話番号を追加します。 情報は[情報保存]を押した時点で反映されます。
番号修正ボタン	一覧で指定した電話番号情報を修正します。 情報は[情報保存]を押した時点で反映されます。
番号全削除ボタン	登録された電話番号情報をすべて削除します。 情報は[情報保存]を押した時点で反映されます。
[編集]リンク	指定の電話番号情報を編集するために画面に表示します。
[削除]リンク	一覧から電話番号を削除します。 情報は[情報保存]を押した時点で反映されます。
情報保存ボタン*	画面の入力情報をデータベースに保存します。

2. 登録されている顧客情報を確認・編集（修正／削除）・出力する

MOT/PBX シリーズに登録済みの顧客情報を確認・編集（修正／削除）・出力します。

1. 設定画面内「顧客情報」の「情報一覧」をクリックします。



2. 「顧客情報一覧」画面を表示します。

顧客情報一覧						
▶ [新規登録]						
全選択 削除 出力 <input type="checkbox"/> 詳細出力						
削除	ID	名称	区分	ホットライン	電話番号	コマンド
<input type="checkbox"/>	1	株式会社一郎	外部個人	固定値	0901	[編集]
<input type="checkbox"/>	2	株式会社シロー	外部個人	固定値	2回 [表示] ①	[編集]
<input type="checkbox"/>	3	佐藤	外部個人	固定値	031	[編集]

①各顧客 [編集] をクリックすると当顧客の情報編集画面へ移動します。

②削除したい顧客情報をチェックし「削除」ボタンを押すと一斉削除します。

項目	説明
削除	削除したい顧客情報をチェックし削除ボタンを押すと一斉削除します。
出力	顧客情報に登録されている情報を CSV 出力します。
詳細出力	顧客情報に入力されている全情報を CSV へ出力します。
名称	顧客の登録名称を表示します。
区分	ユーザ区分を表示します。 外部会社・外部個人・内部会社・内部個人
ホットライン	優先着信の設定を表示します。 固定値・前回着信先・自動判定
電話番号	登録電話番号を表示します。複数登録がある場合はその個数と、表示用リンクを表示します。[表示]をクリックすると、その顧客の登録電話番号をすべて表示します。
[編集]リンク	当顧客の情報編集画面へ移動します。
[新規登録]リンク	顧客情報の新規登録画面へ移動します。

3. 顧客情報を一括で取り込む（CSV ファイル取込）

CSV ファイル取込にて、顧客情報を一括で取り込むことができます。

※MOT/Cloudとの外部連携を行っている場合、インポート（取込）機能はご利用いただけません。

※顧客情報は最大 10,000 件まで登録可能です。

取込の結果、10,000 件目以降の顧客情報は保存されません。

1. CSV のテンプレートを設定する

保守機能内「CSV テンプレート管理」よりテンプレートを設定します。



2. CSV のテンプレートをダウンロードする

電話帳管理内「電話帳の反映」より各電話機へ電話帳を反映します。



3. 顧客情報の CSV ファイルを作成する

ダウンロードしたテンプレートファイルを開き、お客様情報を入力します。



4. 顧客情報の CSV ファイルを取り込む（インポートする）

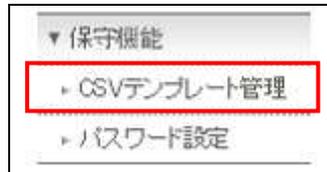
顧客情報内「CSV インポート」より CSV ファイルを取り込みます。

1. CSV のテンプレートを設定する

保守機能内「CSV テンプレート管理」よりテンプレートを設定します。

【テンプレートを新規設定し、顧客情報を登録する場合】
（顧客情報 CSV ファイルをエクセルに手打ちして作成する場合）

1. 設定画面内「保守機能」の「CSV テンプレート管理」をクリックします。



2. 「CSV テンプレート管理」画面を表示します。システム設定、CSV 列番号設定（ユーザ情報）、CSV 列番号設定（電話番号情報）の各項目を入力し、「新規作成」ボタンを押します。

A screenshot of the 'CSVテンプレート管理' (CSV Template Management) screen. The screen is divided into several sections. At the top, there is a table with columns 'No.', 'システム名', and 'コマンド'. Below this, there are three main sections: 'システム設定' (System Settings), 'CSV列番号設定(ユーザ情報)' (CSV Column Settings (User Information)), and 'CSV列番号設定(電話番号情報)' (CSV Column Settings (Phone Number Information)). The 'システム設定' section includes fields for 'システム名', 'CSV文字コード', and 'データ開始行'. The 'CSV列番号設定(ユーザ情報)' section includes a grid of fields for user information like 'ユーザID', '名称', 'フリガナ', etc. The 'CSV列番号設定(電話番号情報)' section includes a grid of fields for phone numbers with dropdown menus for categories like '携帯個人', '会社', '自宅'. At the bottom, there are buttons for '新規作成' (New Creation) and '設定' (Settings). A red box highlights the 'システム設定' and 'CSV列番号設定' sections.

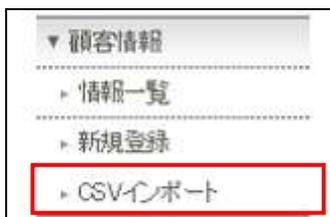
3. テンプレートが登録されます。

A screenshot of the 'CSVテンプレート管理' (CSV Template Management) screen showing the updated table. The table has columns 'No.', 'システム名', and 'コマンド'. The table now contains three rows: row 1 with 'GMail', row 3 with '顧客データ新規登録', and row 100 with 'CTUバックアップファイル'. The row 3 entry is highlighted with a red rectangular box.

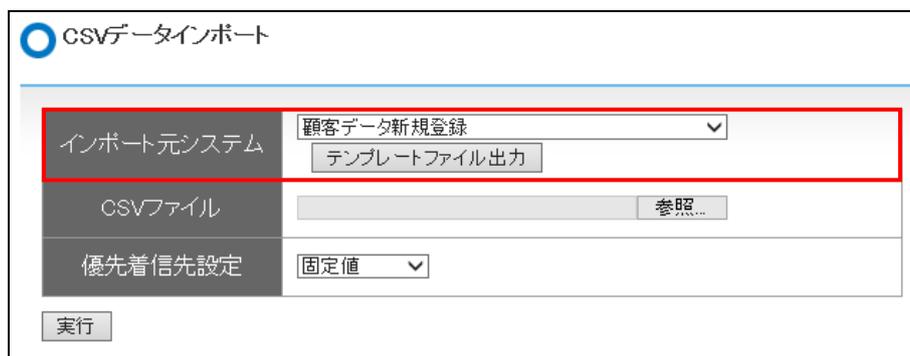
No.	システム名	コマンド
1	GMail	[編集][削除] [テンプレートファイル出力]
3	顧客データ新規登録	[編集][削除] [テンプレートファイル出力]
100	CTUバックアップファイル	

2. CSV のテンプレートをダウンロードする

1. 設定画面内「顧客情報」の「CSV インポート」をクリックします。



2. 「CSV データインポート」画面を表示します。インポート元システムを選択し、「テンプレートファイル出力」ボタンを押します。



※この例では、「1. CSV のテンプレートを設定する」で設定した顧客情報 CSV ファイルをエクセルに手打ち

項目	説明	
インポート元システム	インポートする CSV ファイルがどのシステムからエクスポートしたものかを選択します。本装置は、選択されたシステムのテンプレートに従って各列の情報を顧客情報へ変換して登録します。列番号と情報の対応は[保守機能]-[CSV テンプレート管理]で変更が行えます。	
テンプレートファイル出力	選択中のインポート元システムからエクスポートされる CSV ファイルのテンプレートを出力します。	
CSV ファイル	インポートする CSV ファイルを入力します。	
優先着信先設定	インポートした電話番号の優先着信先の設定を行います。	
	固定値	[着信先番号]に入力した内線番号に優先着信します。
	前回着信先	最終通話した内線番号に優先着信します。 ※基本設定の最終通話者判定の設定によりキャンセルを含めます。
	● 自動判定	前日までの通話回数によって、優先着信する内線番号を自動判定します。
実行ボタン	インポートを行います。	

3. ファイル名「template.csv」がダウンロードされます。

(※ダウンロード時の動作はご利用のブラウザの設定によります。保存を行ってください。)

3. 顧客情報の CSV ファイルを作成する

1. ダウンロードしたテンプレートファイルを開き、お客様情報を入力します。

入力後、上書き保存します。

※名前やファイル形式の変更できません。変更するとファイルが破損する恐れがあるため必ず同名で上書き保存を行ってください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	#ユーザID	名称	フリガナ	郵便番号	国番号	住所	会社名	メールアドレス	FAX	備考	携帯(会社)	会社	自宅		
2		オフィス花	オフィスハ	929-1177	81	石川県かほろ	オフィス24	xxxx@xxxx.xxx.jp			090-1111-076-1111				
3															
4															
5															

【設定値の制限】

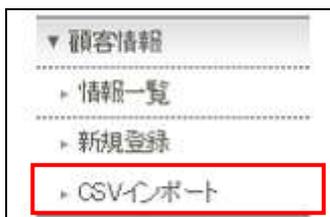
インポートファイルのデータ、および顧客情報登録画面からの入力データは以下の制限があります。インポートファイルのデータが制限文字数を超える場合、先頭から制限文字数までの部分が登録されます。

項目	CSV ファイル	画面入力	備考
ユーザ ID	半角数値	(自動設定)	
名称	全半角 25 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 25 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
フリガナ	全半角 25 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 25 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
郵便番号	任意	半角数字 7 桁	半角数字以外は自動削除。数字 7 桁にならない場合は登録しない
国番号	半角数字 3 桁	半角数字 3 桁	入力値が不正の場合は[81]に自動設定
都道府県	(住所欄から自動設定)	1~48	
市区町村・番地(住所)	都道府県名を除いて全半角 51 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 51 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
会社名	全半角 51 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 51 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
メールアドレス	半角 64 文字	半角 64 文字	'@'必須
URL	半角 128 文字	半角 128 文字	
FAX	半角数字 20 桁	半角数字 20 桁	
備考	全半角 25 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 51 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
電話番号	半角数字 20 桁	半角数字 20 桁	1 顧客につき 5 番号まで

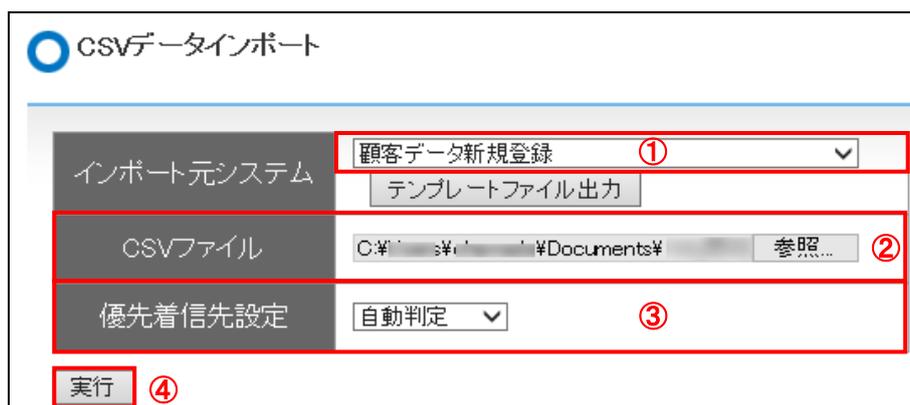
- ・画面から住所、備考に『改行』を入力すると、CSV出力、インポートに影響を与える為、入力しないで下さい。
- ・MOT/Cloudとの外部連携を行っている場合、インポート機能はご利用できません。

4. 顧客情報の CSV ファイルを取り込む（インポートする）

1. 設定画面内「顧客情報」の「CSV インポート」をクリックします。



2. 「CSV データインポート」画面を表示します。



①あらかじめ用意した CSV ファイルにあわせてインポート元システムを選択します。

※この例では、「1. CSV のテンプレートを設定する」で設定したテンプレートを選択しています。

- ②「参照」ボタンを押します。CSV ファイルを参照します。
- ③優先着信先を設定します。
- ④「実行」ボタンを押します。

3. インポートが正常に完了すると、「インポートが完了しました」と表示されます。「OK」ボタンを押します。



【インポート完了時の画面表示メッセージ】

インポートが正常に完了すると、「インポートが完了しました」と表示されます。

1 件以上の顧客情報がデータベースに保存できなかった場合、「不正なデータが含まれています」と表示されます。

インポートの結果、登録件数が最大件数(10,000 件)を超える場合はその旨が表示されます。

10,000 件目以降の顧客情報は保存されません。

以上で顧客情報のインポートが完了しました。

13 チャット機能（MOT/Cha）を利用する

MOT/PBX の機能を利用して、チャット機能を利用することができます。

※「MOT/Cha」はチャット機能の名前です。

※ MOT/Cha のご利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。

本項では、チャット機能（MOT/Cha）を利用するために必要な設定について説明します。

1. チャットを利用するユーザを登録する

チャット機能（MOT/Cha）を利用するユーザを登録します。次の手順で設定します。

1. 設定画面にて代表番号を設定する（※初回設定済みの場合は表示されません）
チャット機能（MOT/Cha）と MOT/PBX シリーズを連動するための設定です。

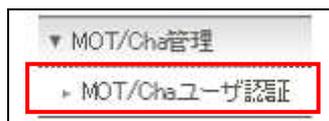


2. 仮ユーザ登録を行う
設定画面にて仮ユーザ登録（MOT/Cha ユーザ認証登録）を行います。



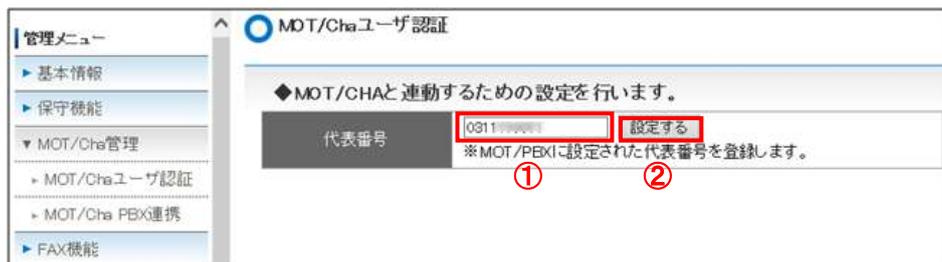
3. 各電話機側より本登録を行う
各電話機側を操作し、本ユーザ登録（認証登録）を行います。

1. 設定画面内「MOT/Cha 管理」の「MOT/Cha ユーザ認証」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」が開きます。

※初回設定済みの場合はこの手順を読み飛ばし、手順3へお進みください。



①MOT/PBX に設定された代表番号を入力します。

②「設定する」ボタンを押します。

3. 「MOT/Cha ユーザ認証」画面が開きます。



①ユーザの内線番号が表示されます。チャット機能（MOT/Cha）を利用するユーザにチェックを入れます。

②「認証登録」ボタンを押します。

③ [アカウント一覧] をクリックします。

4. アカウント一覧画面を表示します。MOT/Phone（携帯電話など）に登録するパスワードを確認します。



項目名	内容
Main number	手順 1 で入力した代表番号を表示します。
Extension	内線番号を表示します。
Password	MOT/Cha を利用するためのパスワードを表示します。

5. MOT/Phone（携帯電話など）に MOT/Cha を利用するための設定を行います。
それぞれのマニュアルを参照して設定（パスワードの再設定）を行ってください。

Android の場合	MOT/Phone Android 版 User' s Guide
iPhone の場合	MOT/Phone iPhone 版 User' s Guide
PC の場合	MOT/Cha Windows 版 User' s Guide

2. チャット利用設定の解除、パスワードの変更をする

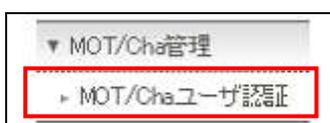
退職などでチャットを利用されなくなった場合の、設定の解除方法、またパスワードの変更を行う方法を説明します。

【利用設定の解除方法】

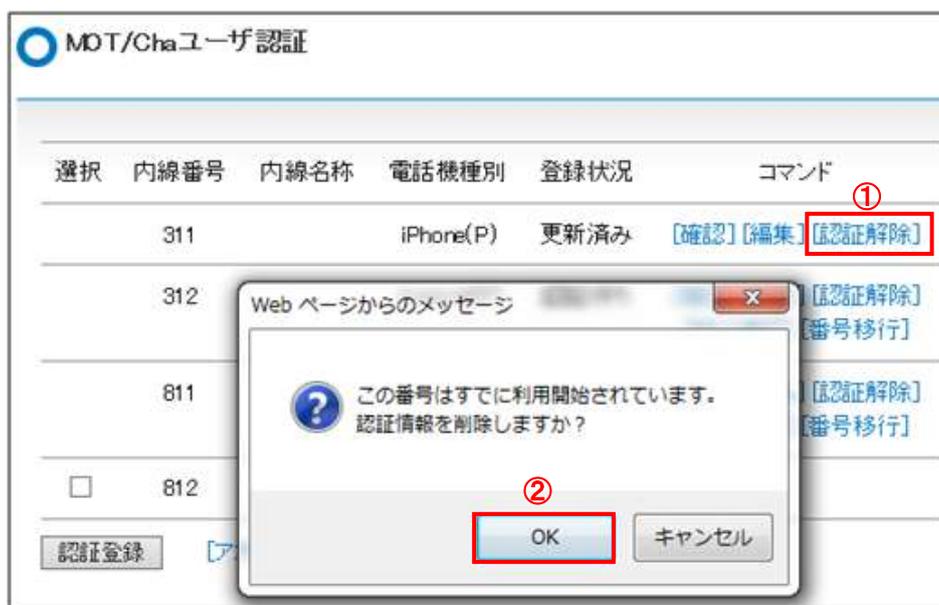
※認証解除を行うと、MOT/Chaのチャット履歴がすべて削除されます。

※MOT/Chaの利用解除のみで、ユーザ情報のすべてが削除されるわけではありません。

1. 設定画面内「MOT/Cha 管理」の「MOT/Cha ユーザ認証」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」が開きます。



①設定を解除したいユーザのコマンド欄より、[認証解除] をクリックします。

②確認メッセージを表示します。「OK」ボタンを押下します。

認証が解除され、未登録になります。

【パスワードの変更方法】

1. 設定画面内「MOT/Cha 管理」の「MOT/Cha ユーザ認証」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」が開きます。



①パスワードを変更したいユーザのコマンド欄より、[編集] をクリックします。

②パスワード変更画面を表示します。パスワードを入力し、「変更する」ボタンを押下します。

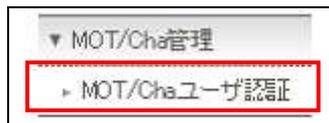
以上でパスワードが変更されます。

3. 番号の移行（チャット携帯認証ユーザを PBX 認証へ移行する）

旧認証方法（スマートフォンの電話番号）で登録したユーザと、現在の認証方法（「代表番号」＋「内線番号」）で登録したユーザの間ではチャットができないため、新旧のユーザが混在する場合は、旧ユーザを新ユーザへ番号移行します。

※ユーザと管理者でやり取りが必要な手順です。あらかじめユーザとこの作業を行うことを相談の上、作業を実施してください。

1. 管理者にて、設定画面内「MOT/Cha 管理」の「MOT/Cha ユーザ認証」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」が開きます。



- ①新ユーザへ番号移行したいユーザのコマンド欄より、[移行確認] をクリックします。
- ②携帯番号移行確認画面を表示します。作業を行うスマートフォンの電話番号を入力し、「通知する」ボタンを押下します。
ユーザの携帯電話に MOT/Cha に暗証番号が送信されます。

3. 手順 2 で入力した携帯電話番号の MOT/Cha（ユーザ側）に暗証番号が通知されます。
ユーザから、携帯電話番号と暗証番号を管理者に伝えます。



4. 管理者にて、再度「MOT/Cha ユーザ認証」画面を開きます。



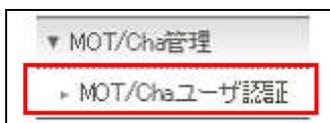
- ① 新ユーザへ番号移行したいユーザのコマンド欄より、[番号移行] をクリックします。
② 「MOT/Cha ユーザ移行処理」画面を表示します。作業を行うスマートフォンの電話番号と暗証番号を入力し、「移行する」ボタンを押下します。

4. 利用制限の解除

装置によって FAX のチャット通知のみご利用されている場合があります。

制限解除することでチャット機能が利用できるようになります。

1. 管理者にて、設定画面内「MOT/Cha 管理」の「MOT/Cha ユーザ認証」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」が開きます。



- ①登録状況欄の[制限あり]をクリックします。

- ②「利用制限」画面を表示します。「解除する」ボタンを押下します。

14 FAX 機能利用設定ご利用時に必要な設定

MOT/PBX の機能を利用して、FAX の送受信を行うことができます。

本項では、FAX データを利用するために必要な設定について説明します。

※あらかじめ FAX 受信用の MOT/Cha グループ登録が必要です。登録は当社工事の際に行います。

1. FAX 受信用の MOT/Cha グループにユーザを追加する

※追加するユーザはあらかじめ MOT/Cha ユーザとして登録しておく必要があります。

1. 管理者にて、設定画面内「MOT/Cha 管理」の「MOT/Cha 連動設定」をクリックします。



2. 「MOT/Cha 連動設定」が開きます。ユーザを追加するグループをクリックし、「ユーザの追加」をクリックします。



3. 電話番号、内線番号を入力後「追加」をクリックします。



2. FAX で利用する送付状を設定する

MOT/FAX で送信する FAX データの送付状の設定方法です。

※あらかじめ送付状データ（A4 縦、PDF ファイル）をお客様にてご準備ください。

1. 設定画面内「FAX 機能」の「FAX 送付状設定」をクリックします。



2. 「FAX 送付状の設定」画面が開きます。[変更] をクリックします。



3. 「FAX 送付状の更新」画面が開きます。



①送付状の説明（説明）を入力します。

②参照ボタンよりあらかじめご準備いただいた送付状ファイルを参照・設定します。

③「更新」ボタンを押します。

4. 再度、設定画面内「FAX 機能」の「FAX 送付状設定」をクリックし、FAX 送付状の設定を開きます。
画面の下部にて「許可」ボタンを押します。

※管理画面の操作後に素早く（3分以内に）MOT/Phone の操作が必要な手順です。

あらかじめ MOT/Phone をご準備の上、作業を実施してください。



5. ユーザ側の各電話機の操作にて送付状を更新します。

※許可を行ってから3分以内の操作が必要です。

iPhone 版操作



Windows 版 POPUP 操作



以上で送付状の設定が完了します。

3. 設定した送付状を削除する

FAX 送付状の削除手順です。

1. 設定画面内「FAX 機能」の「FAX 送付状設定」をクリックします。



2. 「FAX 送付状の設定」画面が開きます。[削除] をクリックします。



- ① [削除] をクリックします。
- ② 確認メッセージを表示します。「OK」ボタンを押します。

以上で FAX 送付状が削除されます。

15 メッセージ、コード一覧

1. 留守番電話アナウンス一覧

電話端末からリモート操作によって設定可能な「留守番電話アナウンス」について、設定可能なメッセージ内容の一覧を以下に示します。

アナウンス	内容
留守番電話1	本日の業務は終了しました。ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話2	只今、電話に出ることができません。ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話3	お掛けになった電話は現在でることができません。 “ピー”となったら、メッセージを録音してください。
留守番電話4	“ピー”と鳴ったら、メッセージを録音してください。
留守番電話5	只今、留守にしております。 ご用件をピーと言う音の後にお話し下さい。

2. アナウンスサービスメッセージ一覧

アナウンスサービスとして設定可能なメッセージ内容を以下に示します。

アナウンス	内容
アナウンスサービス1	本日の業務は終了しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス2	お電話ありがとうございます。本日の営業は終了致しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス3	ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。
アナウンスサービス4	只今、電話に出ることができません。恐れ入りますが改めてお電話をいただけますようお願いいたします。
アナウンスサービス5	お掛けになった番号は電波が届かない場所か、電源が入っていないため掛かりません。

3. 着信拒否アナウンス一覧

アナウンス	内容
着信拒否 アナウンス1	電話番号の前に 186 をつけてダイヤルするなど、 あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
着信拒否 アナウンス2	貴方の番号を通知してお掛け直してください。
着信拒否 アナウンス3	お客様のご都合により、通話ができなくなっています。
着信拒否 アナウンス4	お客様のご要望により、おつなぎすることができません。
着信拒否 アナウンス5	この電話は、お客様のご希望によりおつなぎ出来ません。

4. エラーコード内容

エラーコード	内容
403	SIPドメインの間違い、ユーザIDが無効になっている可能性があります。
404	発信先の相手が見つかりません。発信した番号を確認してください。
406	相手が着信等を拒否している可能性があります。
408	何らかの原因でタイムアウトが起きています。
480	相手が着信拒否をしている、存在しない番号等で一時的に利用不可の状態です。
486	相手が話し中です。
488	=406 相手が着信等を拒否している可能性があります。
600	PBX 配下の電話機話中です。
603	端末で拒否されています。

16 転送時の特番（コマンド）について

パターン設定や、電話機から転送設定を行う際の特番（コマンド）について説明します。

特番とは？

電話機、またはMOT/PBXからダイヤルする際に、あらかじめ特定の動作をするように設定されているダイヤル番号です。プレフィックスと呼ぶ場合もあります。

転送については以下の特番が割り当てされています（※初期値）。

ダイヤル番号	特番	説明
*21	不在転送	不在の場合、全ての着信を転送先に転送します。
*22	話中転送	話中の場合、全ての着信を転送先に転送します。
*23	不在応答転送	一定時間応答がない場合、全ての着信を転送先に転送します。
*24	圏外転送	圏外の場合、全ての着信を転送先に転送します。

留守電／アナウンスの開始／終了については以下の特番が割り当てされています（※初期値）。

ダイヤル番号	特番	説明
*91～*95	留守番録音	留守番ガイダンスを流し、留守番電話メッセージを録音します。
92	留守番再生	留守番電話に録音されたメッセージを再生します。
701～705	アナウンスサービス	不在、不応答時に音声アナウンスを流します。

電話機から留守録の音声メッセージ吹き込み、メッセージ確認、適用を行う場合については以下の特番が割り当てされています（※初期値）。

ダイヤル番号	特番	説明
*25	メッセージ吹き込み	応答メッセージの吹き込みを開始します。
*26	メッセージ確認	設定中のメッセージ内容を確認します。
*27	メッセージの適用	各種応答メッセージを適用します。

例：電話機から不在応答を設定する場合

例えば、ラインキー9501に対して不在応答を設定する、または解除する場合は、電話機から以下のように設定します。

■留守番電話サービス、またはアナウンスサービスの開始

留守番電話サービスの場合（「*21*91301***9501」とダイヤル）



アナウンスサービスの場合（「*21701***9501」とダイヤル）



① *21・・・不在転送。不在の場合、全ての着信を転送先に転送します。

②（留守電の場合）*91・・・留守電録音特番。留守番ガイダンスを流し、留守番電話メッセージを録音します。 ※留守電の場合は②と③はセットで設定します。
（アナウンスの場合）701・・・アナウンスサービス特番。音声アナウンスを流します。

③301・・・録音メッセージを保持する内線番号。通常 301 をご利用ください。

④上記①～③までの設定を行う内線番号を設定します。

今回の場合はラインキー9501 が不在時に留守電、またはアナウンスサービスに転送します。

※パターン設定の場合、上記①に当たる部分をプルダウンで選択すると、自動で②、③が設定されます。

④の転送元については転送元番号を入力します。

■留守番電話サービス、またはアナウンスサービスの停止

上記の番号ルールのうち、①と④だけの組み合わせで発信すると、サービスが停止します。

「*21*91301***9501」で留守電を開始→「*21***9501」にて解除

「*21701***9501」でアナウンスを開始→「*21***9501」にて解除

ご質問・お問い合わせは

よくある質問 FAQ／設定マニュアル

ホームページにてよくあるご質問や設定マニュアル、動画での解説などをご案内しております。お問い合わせいただく前に、ぜひご確認ください。

<https://www.mot-net.com/customer/manual>

本装置に関する技術的なお問い合わせ

サポートセンター窓口

TEL : 0120-664-024

受付時間: 9:00～17:30 (土日・祝日を除く)

故障の際は

別紙、取扱説明書、保証書をご参照の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。